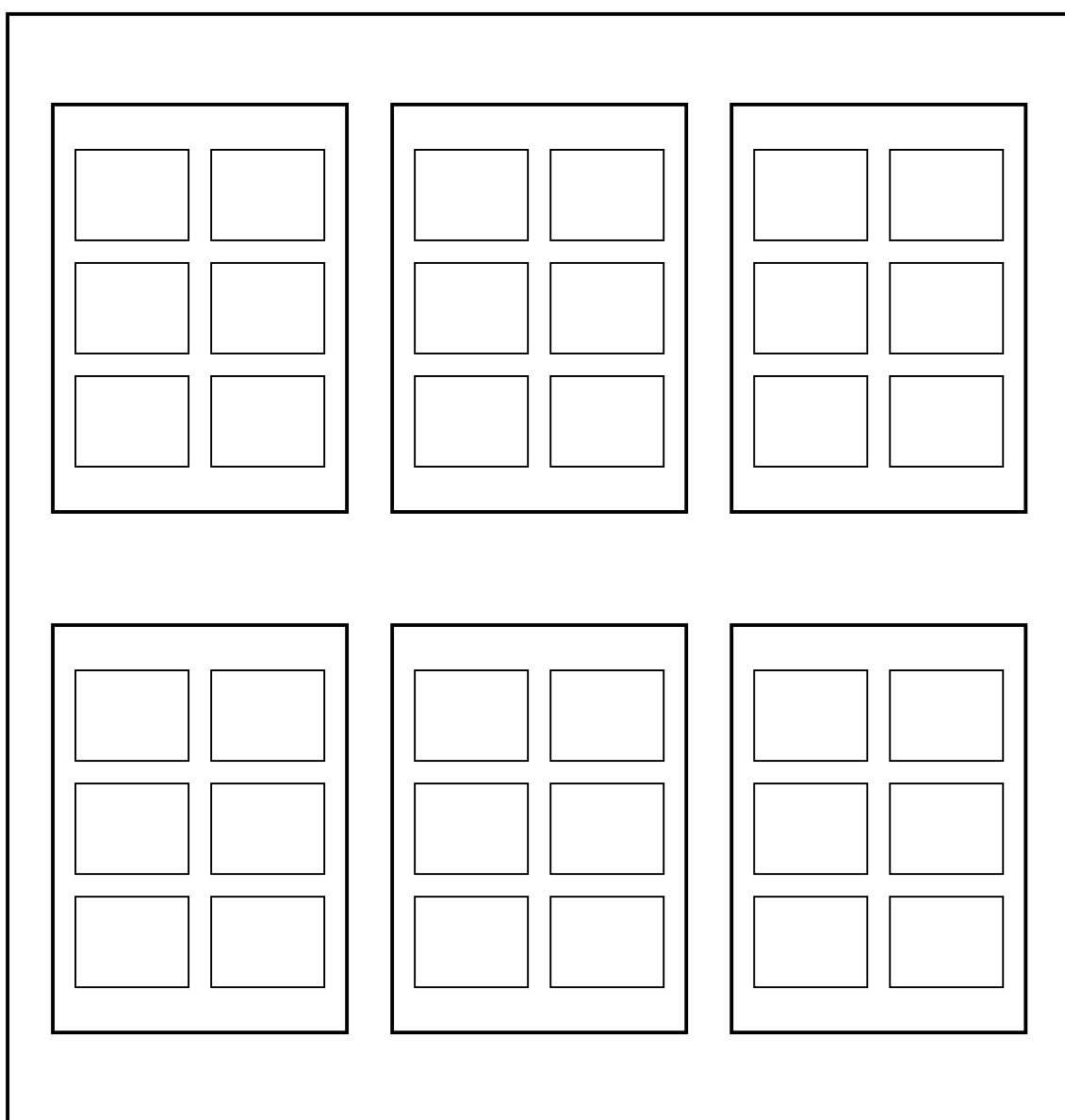


GTB

JobEditor V1.1

ユーザーズマニュアル



目次

第一章	お使いになる前に.....	1
1	動作環境とインストール.....	2
1 - 1	推奨動作環境.....	2
1 - 2	JobEditor のインストール手順.....	3
2	JobEditor 概要.....	7
2 - 1	JobEditor について.....	7
2 - 2	作業の流れ.....	8
2 - 2	作業の流れ.....	9
2 - 3	原稿について.....	9
2 - 4	JobEditor で取り扱うファイル.....	11
2 - 5	原稿 (1bitTIFF) ファイルの名称規則.....	11
3	Windows 基本操作.....	13
3 - 1	マウスの操作.....	13
3 - 2	ウィンドウ操作.....	14
3 - 3	リスト操作.....	17
3 - 4	メニュー操作.....	18
第二章	基本画面とメニュー.....	19
1	基本画面構成.....	20
2	メニュー構成.....	21
第三章	操作説明.....	25
1	JobEditor の起動と終了.....	27
1 - 1	JobEditor の起動.....	27
1 - 2	JobEditor の終了.....	27
2	ジョブファイルの操作.....	28

2 - 1 . ジョブデータの新規作成	28
2 - 2 . ジョブファイルを開く	28
2 - 3 . ジョブデータの保存	29
3 . 色版定義ファイルの操作	31
3 - 1 . 色版定義ファイルの編集	31
4 . システム設定	39
4 - 1 . システムの設定	39
5 . PJTF PPW 変換	40
4 - 1 . PJTF PPW 変換実行	40
4 - 2 . PJTF PPW 変換オプション	41
6 . グループ	43
6 - 1 . グループの一覧	43
6 - 2 . グループの作成・編集	44
6 - 3 . グループの複製	49
6 - 4 . グループの削除	50
7 . プレート	51
7 - 1 . プレートの一覧	51
7 - 2 . プレートのレイアウト	53
7 - 3 . プレートの作成	54
7 - 4 . プレートの基本情報の編集	57
7 - 5 . プレートの複製	60
7 - 6 . プレートの削除	61
7 - 7 . プレートの割付情報の編集	61
7 - 8 . 出力合成用 P P W 作成日時の削除	79
7 - 9 . 出力合成用 P P W ファイルの作成	80

第一章

第一章 お使いになる前に

動作環境とインストール

JobEditor 概要

Windows の基本操作

1 . 動作環境とインストール

1 - 1 . 推奨動作環境

接続可能R i p :

スクリーニング後1ビットT I F F出力可能R I P (ハーレクインR I P等)

接続可能C T P : 1ビットT I F Fを出力可能な機種

接続可能C T F : 1ビットT I F Fを出力可能な機種

コンピュータ本体

スタンドアローン : P e n t i u m 6 0 0 M h z 以上

メモリ : 5 1 2 M B 以上

ハードディスク : 2 0 G B 以上

O S : Windows2000

1 - 2 . JobEditor のインストール手順

(注意) **JobEditor** は、起動前にハードウェアキーが接続されている必要がありますので注意して下さい。なお、インストールするには、管理者モードでインストールして下さい。

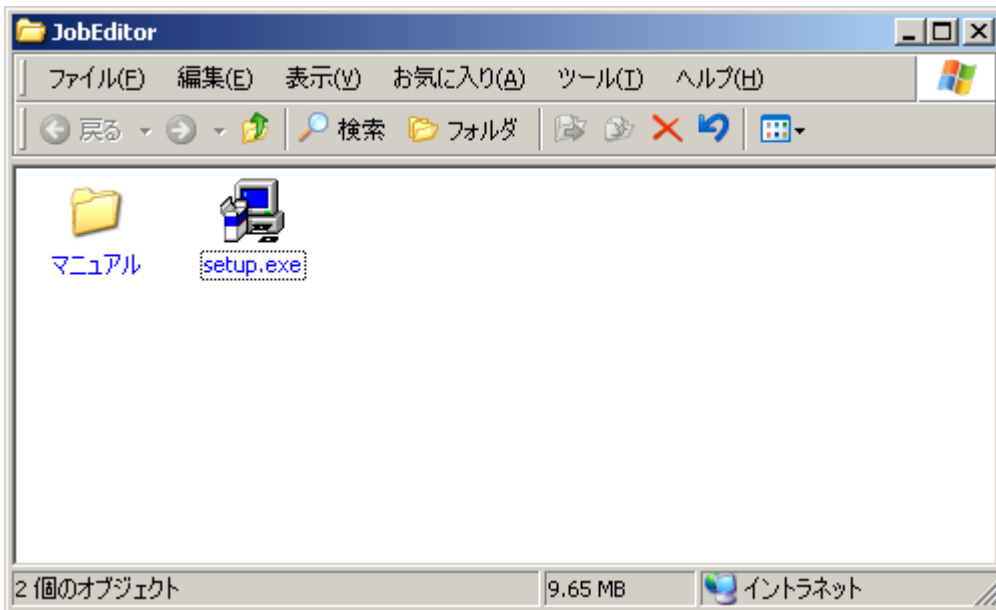
1) ドングルドライバをインストールする。

CD-ROMの中の 「ドングル ドライバ」 「SystemDriver5411」の順にフォルダを開いていき、中にあるSETUP.EXEをダブルクリックします。

インストールの詳細については「最初にお読みください.PDF」を参照してください。



2) **JobEditor** 本体をインストールする。



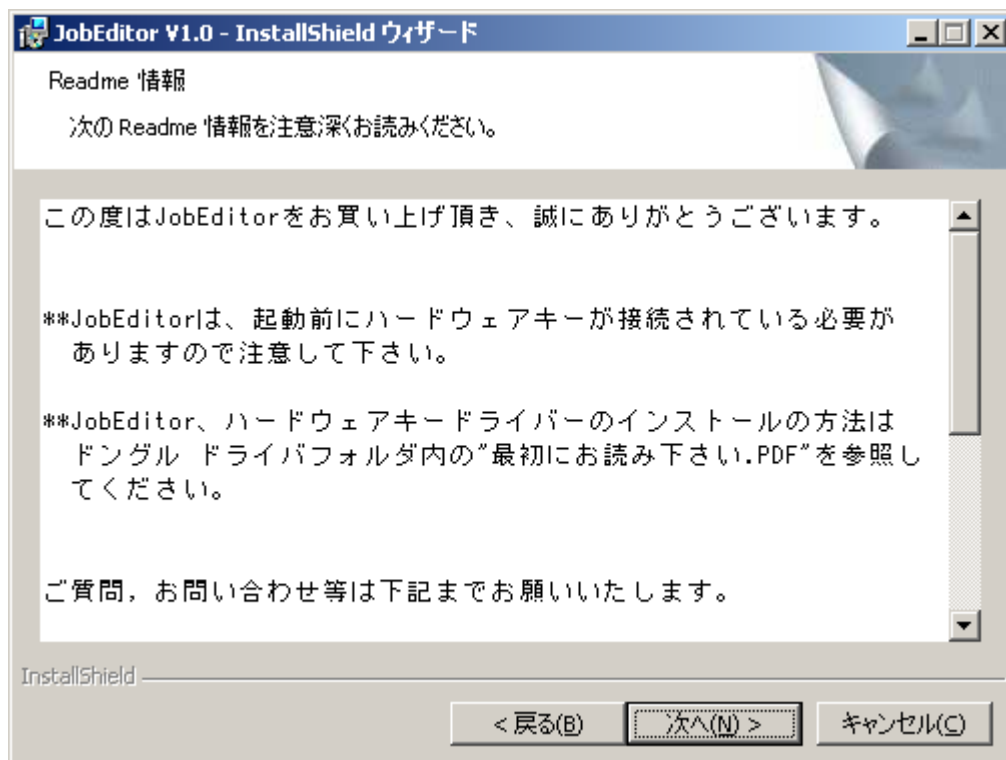
C D-ROM内にある「**JobEditor**」フォルダ内の「SETUP.EXE」をダブルクリックします。



インストールを行う製品のセットアップウィザードが起動しますので「次へ(N)」をクリックします。



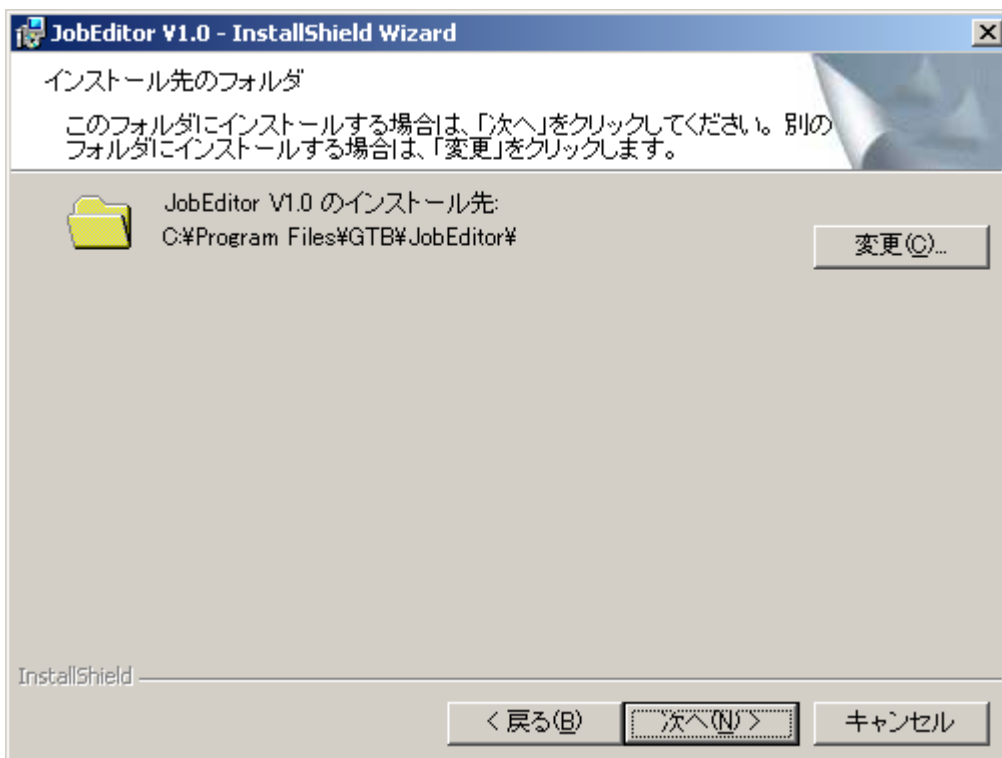
製品の使用許諾が表示されますのでよくお読みください。同意いただいた場合、本製品のインストールが可能となりますので「次へ (N)」をクリックします。



インストールにあたっての注意事項と製造元の情報が表示されます、よくお読みの上「次へ (N)」をクリックします。



名前と所属会社名を入力し、「次へ (N)」をクリックします。



インストール先のフォルダを指定します。

変更する場合は「変更(C)...」をクリックして、パスを直接入力するか、ディレクトリを指定します。「次へ (N)」をクリックするとアプリケーションのインストールを開始します。

2 . JobEditor 概要

2 - 1 . JobEditor について

JobEditor は **PlatePlanner** の作業ファイル (PPW) をレイアウト情報として用いてそのレイアウト情報に対して原稿ファイル情報を単純な操作で効率よく割付け作業を行いジョブとして完成させることを目的としたソフトウェアです。原稿 (1bitTIFF) ファイルが存在し、かつ、割付けが完了したプレートからはいつでも出力合成用の PPW ファイルを作成することができます。弊社の **PlateGenerator** と組み合わせることにより、**JobEditor** で作成した PPW ファイルを用いて出力可能な 1bitTIFF ファイルを生成します。

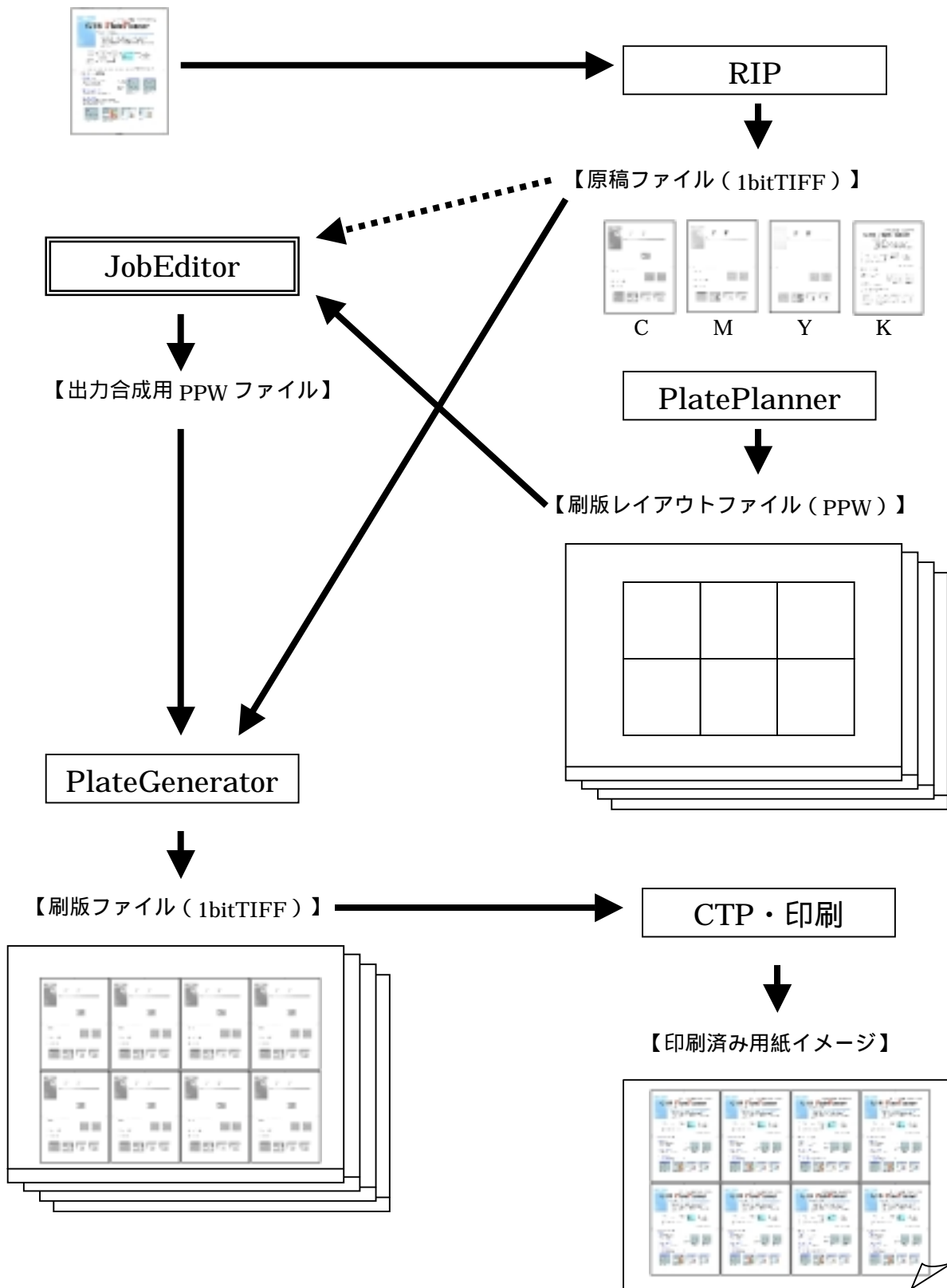
毎日の仕事で刷版レイアウトアウトがまったく同じで原稿のみがことなる場合など、**PlatePlanner** ではテンプレート機能もしくは既存の作業ファイル (PPW) を用いて原稿のみを入れ替えるという作業で、ある程度の定型的な仕事はできますが刷版の解像度が異なる場合や色版等の設定が異なる場合などは、刷版の解像度と色版設定の違い毎にテンプレートもしくは既存の作業ファイル (PPW) をあらかじめ用意しておく必要があり、その組み合わせ等を考えると時には膨大な数になってしまいます。**JobEditor** は解像度や色版等の設定を独自で持っているため刷版レイアウトさえ同じであれば、解像度の違いや色版等の設定の違いに関係なく作業ファイル (PPW) を単純に刷版レイアウト情報として使用することが可能です。*アクセサリは刷版レイアウト情報に含まれるものとして考えます

JobEditor の原稿は名称や色版の組み合わせの異なる原稿 (1bitTIFF) ファイルを 1 つの原稿として割付けることが可能なためチラシ広告など商品の内容は共通で地域によって店名のみが異なる原稿など簡単な作業で行うことが出来ます。

また、ページ物などの大量の原稿 (1bitTIFF) ファイル情報の割付けは、**JobEditor** で読込む作業ファイル (PPW) の原稿名にあらかじめ “##” + ページ番号をつけておくことで一度に原稿ファイル情報を割付けることも可能になります。さらに **JobEditor** は面付けソフトの **FACILIS** (三菱製紙社) の **J-Plate** オプションで作成したジョブチケットファイル (PJTF) を PPW ファイルに変換する機能を持っているのでその機能を使い **FACILIS** の台割りデータを刷版レイアウトして読込むことで原稿 (1bitTIFF) ファイルのページ面付け作業の効率が飛躍的に向上します。

JobEditor の原稿は原稿ファイル情報を割付ける際、既存の原稿 (1bitTIFF) ファイルを必要としません。RIP 後の原稿 (1bitTIFF ファイル) ファイル名と使用色版が予測出来る場合、手入力で原稿ファイル情報を指定して割付けることで、RIP が完了していない原稿ファイル情報も割付けることが出来て、さらにページ連番発生機能を使用すればページ物の原稿にも対応することが出来ます。

【デザイン済み原稿 (PS、PDF)】



2 - 2 . 作業の流れ

JobEditor を使用した刷版レイアウト (PPW) ファイル (**PlatePlanner** の作業ファイル) の取り込みと取り込んだ刷版レイアウトに原稿 (1 bitTIFF) ファイル情報を割り付ける作業の流れ、そして割付けが完了したプレートから出力合成用 PPW ファイルの作成する工程を大まかに示します。

- 1) **JobEditor** を起動します。新規ジョブの場合、自動的にグループを 1 つ作成します
- 2) グループに対しグループ名、色版定義を設定します。
- 3) **FACILIS** (三菱製紙社) の **J-Plate** オプションで作成した PJTF ファイルを刷版レイアウトとして使用する場合、PJTF PPW 変換機能を使用します。必要ない場合は 4) の作業に進みます。
- 4) グループに刷版レイアウトテンプレート (PPW) を取り込み、プレートを作成します。
- 5) プレートに対しプレート名、解像度、原稿フォルダ、アクセサリフォルダ、プレビューフォルダを設定します。
- 6) プレートの原稿に対し原稿 (1bitTIFF) ファイル情報の割付け、プレートを完成させます。
- 6) 完成したプレートから出力合成用の完全な刷版レイアウト (PPW) ファイルを作成します。作成直後に刷版合成の実行を行いたい場合は **PlateGenerator** の入力フォルダに刷版レイアウト (PPW) ファイルを作成します。

2 - 3 . 原稿について

原稿ファイルとは

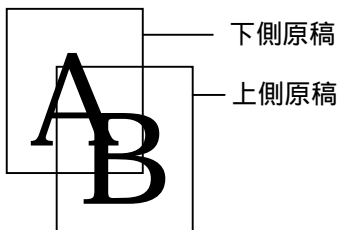
原稿ファイルとは、パンフレットや葉書など 1 枚の印刷物に相当するデータです。たとえば、原稿が C,M,Y,K で構成されいるとします。その原稿は R I P 後に分版、網点化され、C,M,Y,K 4 つの 1 bitTIFF ファイル郡が作成されますが、BitThrough シリーズでは元々 1 つの原稿から作成されたこの C,M,Y,K の 1 bitTIFF ファイル郡を 1 つのまとまりとして原稿ファイルと呼んでいます。

原稿の重ね焼き

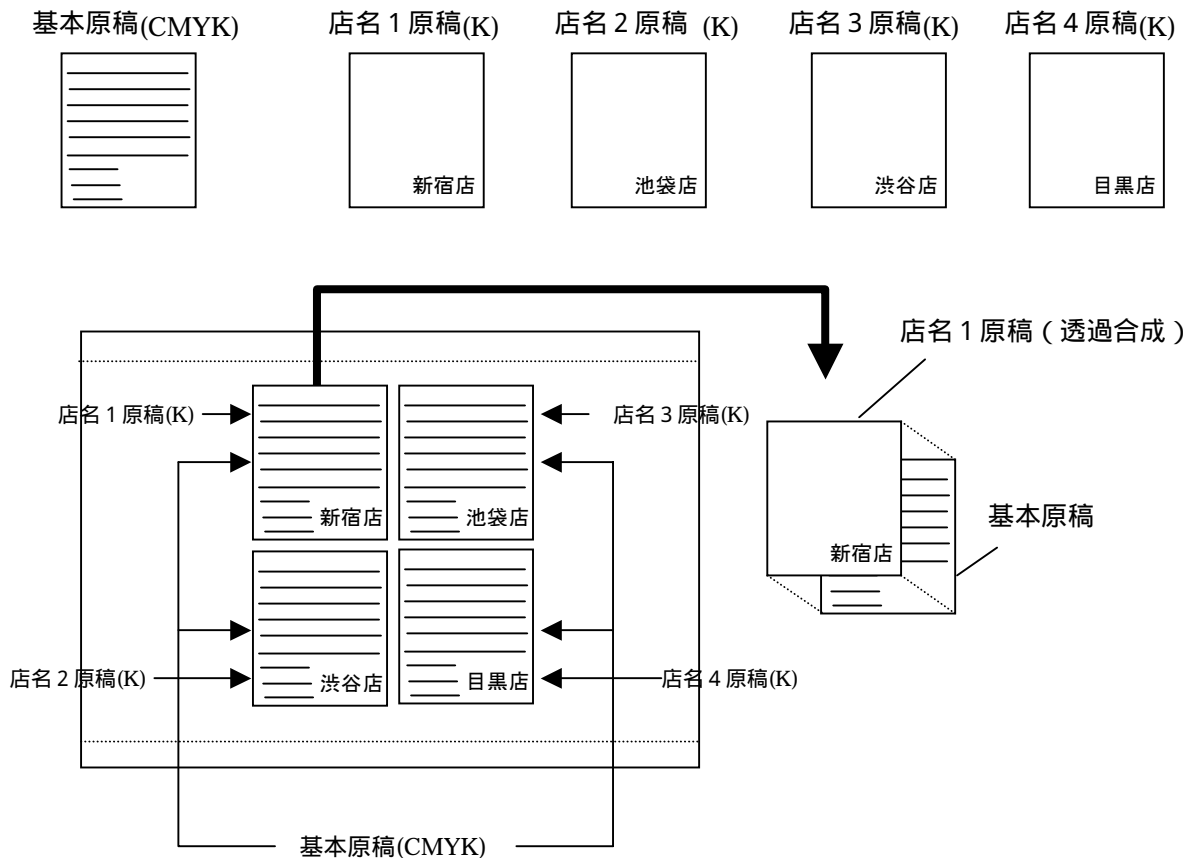
JobEditor では、割付けた原稿ファイル情報の色版が別の原稿の色版と重なっていた場合、透過合成（重ね焼き）を行えるようにします。透過合成とは上側に重ねられる原稿の白地（網点が存在しない）の部分において、下側の原稿の網点が生かされます（透過されます）。

* 実際の合成処理は弊社の PlateGenerator を使用します。

【重ね焼きのイメージ】



透過合成（重ね焼き）機能を利用することで、チラシなどの店名差し替え割付けレイアウトが簡単に作成できます。



2 - 4 . JobEditor で取り扱うファイル

JobEditor で取り扱うファイルについて説明します。

(1) ジョブファイル (.bjf)

JobEditor で行ったジョブ定義 (割付け作業) を保存するためのファイルです。

(2) 色版定義ファイル (.jcf)

JobEditor で使用する色版定義ファイルです。

(2) 作業ファイル (.ppw)

PlatePlanner で行った作業内容を保存するためのファイルです。**JobEditor** ではレイアウトファイルとして使用します。

(3) PJTF ファイル (.jt)

FACILIS (三菱製紙社) の **J-Plate** オプションで作成したジョブチケットファイル。

(4) 原稿、アクセサリ (1bitTIFF) ファイル (.tif)

RIP で出力された網点データのファイルです。各色成分ごとのファイルが存在します。

(5) 画像プレビューファイル (.bmp)

原稿やアクセサリの刷版配置状況を画面で確認するために使用されるファイルです。

(6) システム設定ファイル (JobEditor.def)

システムの設定を保存するためのファイルです。**JobEditor** を初めて起動したときに自動的に作成されます。このファイルを直接操作する必要はありません。

2 - 5 . 原稿 (1bitTIFF) ファイルの名称規則

JobEditor では、色版と原稿 (1bitTIFF) ファイルの対応 (どの色版がどのファイルなのか) を原稿 (1bitTIFF) ファイル名称の一部を参照して行います。

RIP で原稿 (1bitTIFF) ファイルを出力する時、名称に色版の参照名が付加されます (付加される参照名は RIP の設定により異なります)。

例えば、CMYK で構成された“ Page.ps ”という PS ファイルを RIP に通すと、Cyan 版は“ 1PageC.TIF ”、Magenta 版は“ 1PageM.TIF ”、Yellow 版は“ 1PageY.TIF ”、Black 版は“ 1PageK.TIF ”の 4 つの原稿（1bitTIFF）ファイルが出力されます。

アンダーラインのある文字（列）が色版の参照名です。この参照名と色版名の対応を **JobEditor** の“色版定義”に登録することで、色版の網点ファイルを判断します。

また、**JobEditor** での“原稿”とは、これら網点ファイルの名称から参照名を除いた時の名称が一致する網点ファイル郡を 1 つの原稿として判断しています。

（1）原稿（1bitTIFF）ファイル名称の解説

例えば“1PageC.TIF”の内訳は以下の様になっています。（RIP の種類や設定によって異なります）

- “ 1 ” - RIP で付加されるページ番号
- “ Page ” - RIP 前のファイルのジョブ名（ を合わせてベース名と呼ぶ）
- “ C ” - RIP で付加される色版を判別する為の参照名（RIP の設定や色版によって異なります）
- “ .TIF ” - ファイルの拡張子（ファイルのタイプを表します）

（2）**JobEditor** で原稿の判断ができる原稿（1bitTIFF）ファイルの名称規則ページ番号はなくてもかまいません

ベース名は 1 文字以上

色版の参照名は 1 文字以上で、履歴番号か拡張子の前に必要

ファイルの拡張子は“.TIF”で名称の最後に必要

（3）**JobEditor** で原稿に割付ける原稿（1bitTIFF）ファイルの情報は原稿ファイルのベース名と使用色です。ベース名とは（1）の説明を見ても分かるように分版された各 1bitTIFF ファイル名の共通部分を指します。**JobEditor** では原稿（1bitTIFF）ファイル名称をそのまま記憶するのではなくベース名と使用色を記憶し、原稿の名称が必要な場合はルールしたがってベース名と使用色から原稿（1bitTIFF）ファイル名称を生成します。

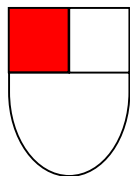
3.Windows 基本操作

3 - 1 . マウスの操作

マウスはコンピュータに指示を与えるための装置です。マウスには右ボタンと左ボタンがあります。マウスの操作には、クリック（左クリックともいいます）、右クリック、ダブルクリック、ドラッグの4種類があります。

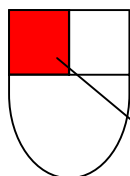
『クリック』

マウスのボタンを1回押してすぐに離すことを、「クリック」といいます。クリックはメニューやボタンを選んだりするときに使います。



『ダブルクリック』

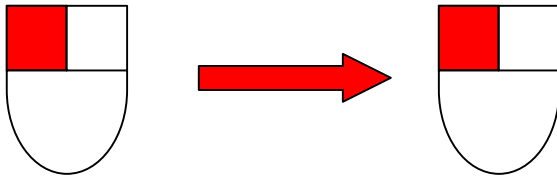
左ボタンをすばやく2回押すことを「ダブルクリック」といいます。ダブルクリックはアプリケーションソフトを起動するときなどに使います。



2回、カチカチと素早くクリック

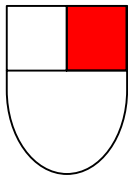
『ドラッグ』

マウスをクリックしたままマウスを動かすことを「ドラッグ」といいます。また、目的の場所までマウスをドラッグした後、マウスのボタンを離すことを「ドロップ」といいます。ドラッグはアイコンやウィンドウの移動や、操作の範囲の選択などに使います。



『右クリック』

マウスの右ボタンを1回押すことを「右クリック」といいます。右クリックは主にメニューを表示させます。

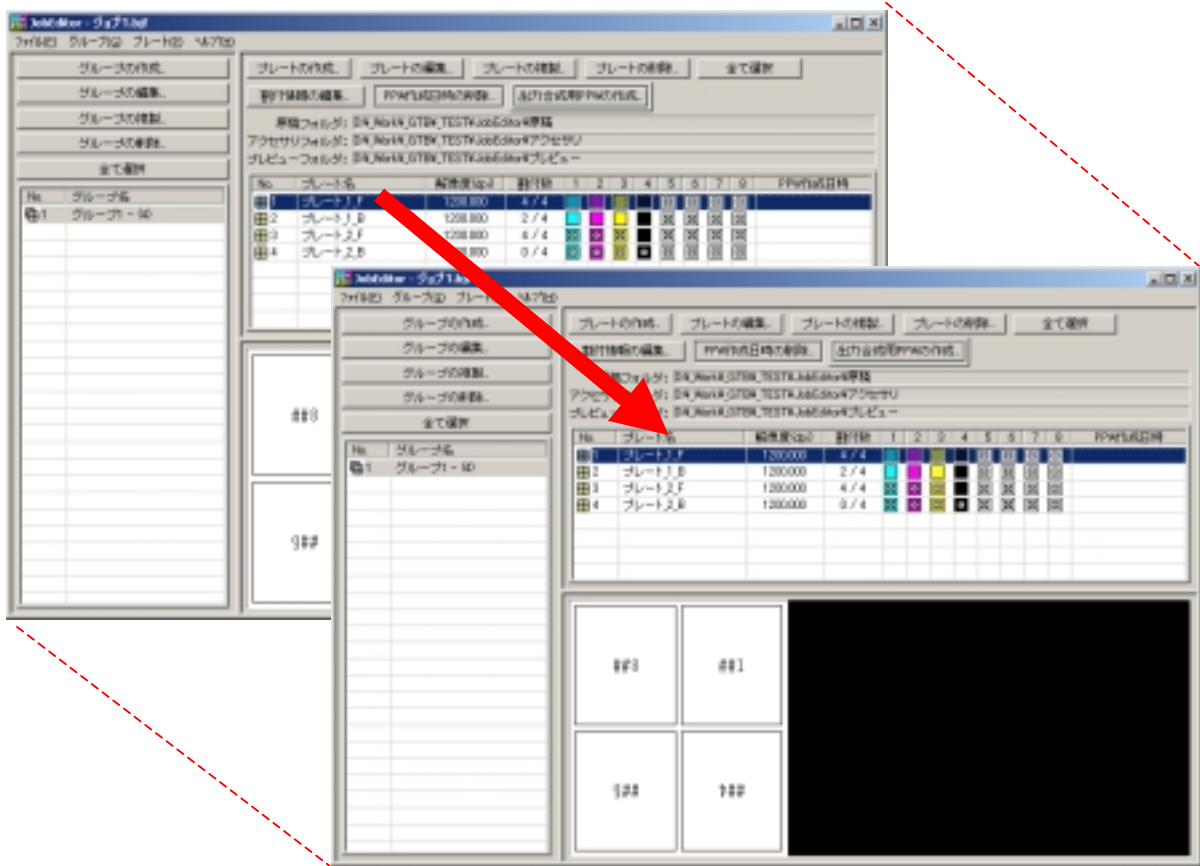


3 - 2 . ウィンドウ操作

ウィンドウは作業を行なう仕事場のようなものです。アプリケーションを起動させるとそのアプリケーションのウィンドウが開かれ、作業ができるようになります。ウィンドウは同時にいくつも開くことができるので、複数の作業を同時進行で行なうことができます。

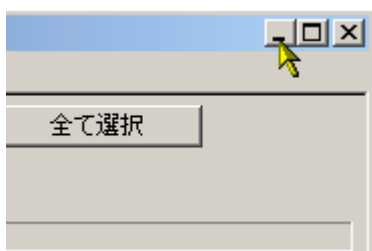
『ウィンドウを移動する』

ウィンドウを移動するときには、そのウィンドウのタイトルバーをドラッグします。移動させたい位置まできたら、マウスのボタンを離します。ウィンドウを移動させても、ウィンドウの大きさは変わりません。



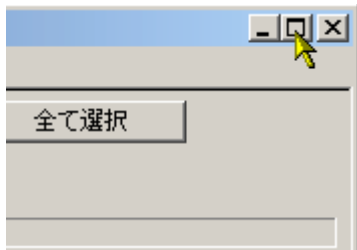
『ウィンドウを最小化する』

タイトルバーの右端にある3つの小さなボタンのうち、左端のボタンをクリックします。すると、ウィンドウはタスクバーに格納され見えなくなります。タスクバーに格納されたウィンドウのボタンをクリックするとふたたび現れます。



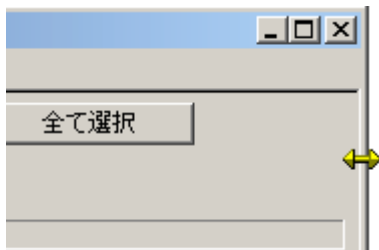
『ウィンドウの最大化する』

タイトルバーの右端にある3つの小さなボタンのうち、真ん中のボタンをクリックすると、ウィンドウは画面いっぱいに表示されます。もう一度クリックすると元の大きさに戻ります。またすでに画面いっぱいに表示されている場合、このボタンは元のサイズに戻すボタンになります。



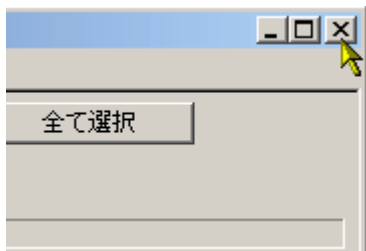
『ウィンドウを好きな大きさに変更する』

ウィンドウの枠の部分にマウスのポインタをあわせると、マウスポインタの形が変化します。この時にマウスをドラッグすると、ウィンドウの大きさが変わります。好きな大きさになったところで、マウスのボタンを離してください。



『アプリケーションソフトを終了する』

タイトルバーの右端に配置されてるボタンの右側のボタンをクリックします。ウィンドウは消え、アプリケーションは終了したことになります。



3 - 3 . リスト操作

『リスト項目の選択』

リストの一覧のウィンドウで選択したいファイルまたは項目にカーソルを合わせてクリックします。選択した項目の色が変われば、その項目を選択したことになります。

No.	プレート名	解像度(dpi)	割付数	1	2	3	4	5	6	7	8	PPW作成日時
1	プレート_1_F	1200.000	4 / 4									
2	プレート_1_B	1200.000	4 / 4									
3	プレート_2_F	1200.000	4 / 4									
4	プレート_2_B	1200.000	4 / 4									

『リスト項目の複数選択』

キーボードの Ctrl キーを押しながらリストを選択すると、複数のファイルまたは項目を選択することができます。

No.	プレート名	解像度(dpi)	割付数	1	2	3	4	5	6	7	8	PPW作成日時
1	プレート_1_F	1200.000	4 / 4									
2	プレート_1_B	1200.000	4 / 4									
3	プレート_2_F	1200.000	4 / 4									
4	プレート_2_B	1200.000	4 / 4									

『リスト項目の一括選択』

Shift キーを押しながら、ファイルまたは項目を選択すると、最初に選択されたファイルから、今、選択されたファイルまで一括で選択できます。最初に選択を行っていないときは、リストの最初からの選択になります。

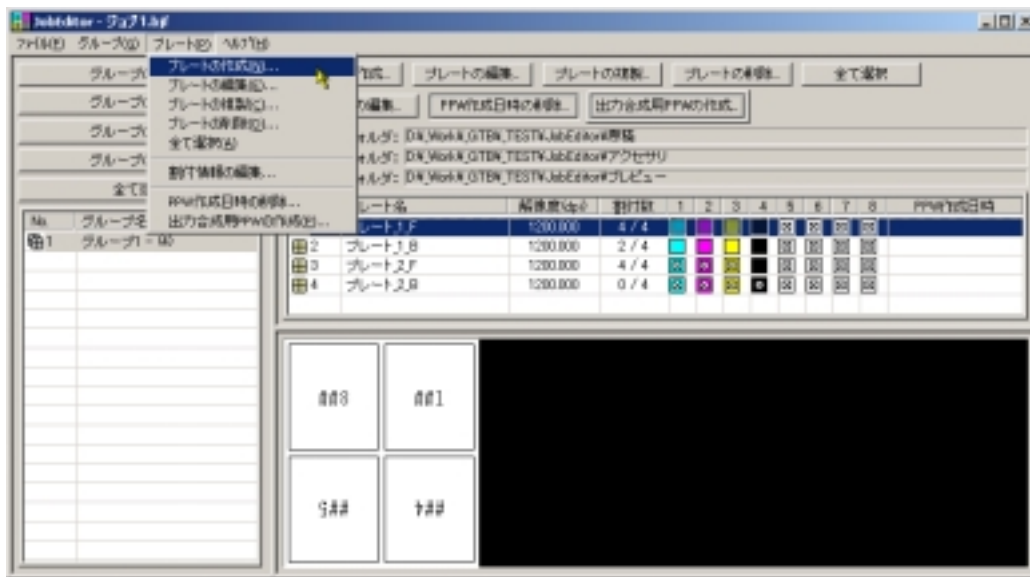
No.	プレート名	解像度(dpi)	割付数	1	2	3	4	5	6	7	8	PPW作成日時
1	プレート_1_F	1200.000	4 / 4									
2	プレート_1_B	1200.000	4 / 4									
3	プレート_2_F	1200.000	4 / 4									
4	プレート_2_B	1200.000	4 / 4									

3 - 4 . メニュー操作

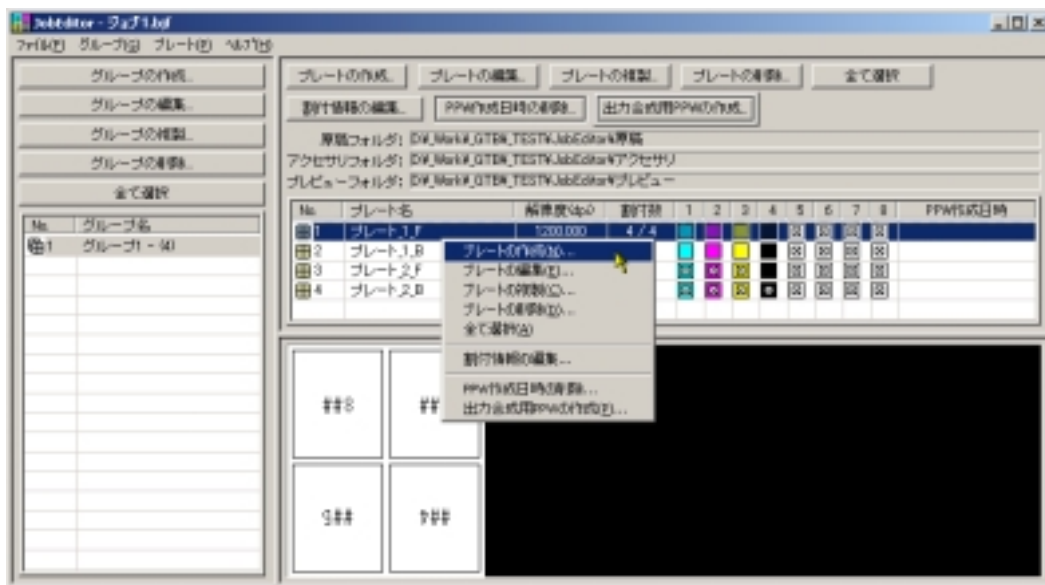
タイトルバーの下の「ファイル」、「編集」などの項目一覧を「メニュー」と呼びます。右クリックなどでもメニューの選択は可能です。メニューバーには選択できうる全てのメニューがあります。

『メニューの選択』

行いたい作業の項目をクリックすると、その項目のさらに細かな作業のメニューが降りてきます。降りてきたメニューの作業項目をクリックするだけです。



リストの上で右クリックを押せばリストに対応したメニューが出てきます。また、リストをダブルクリックすることでリストに対応した情報の編集画面を表示します。



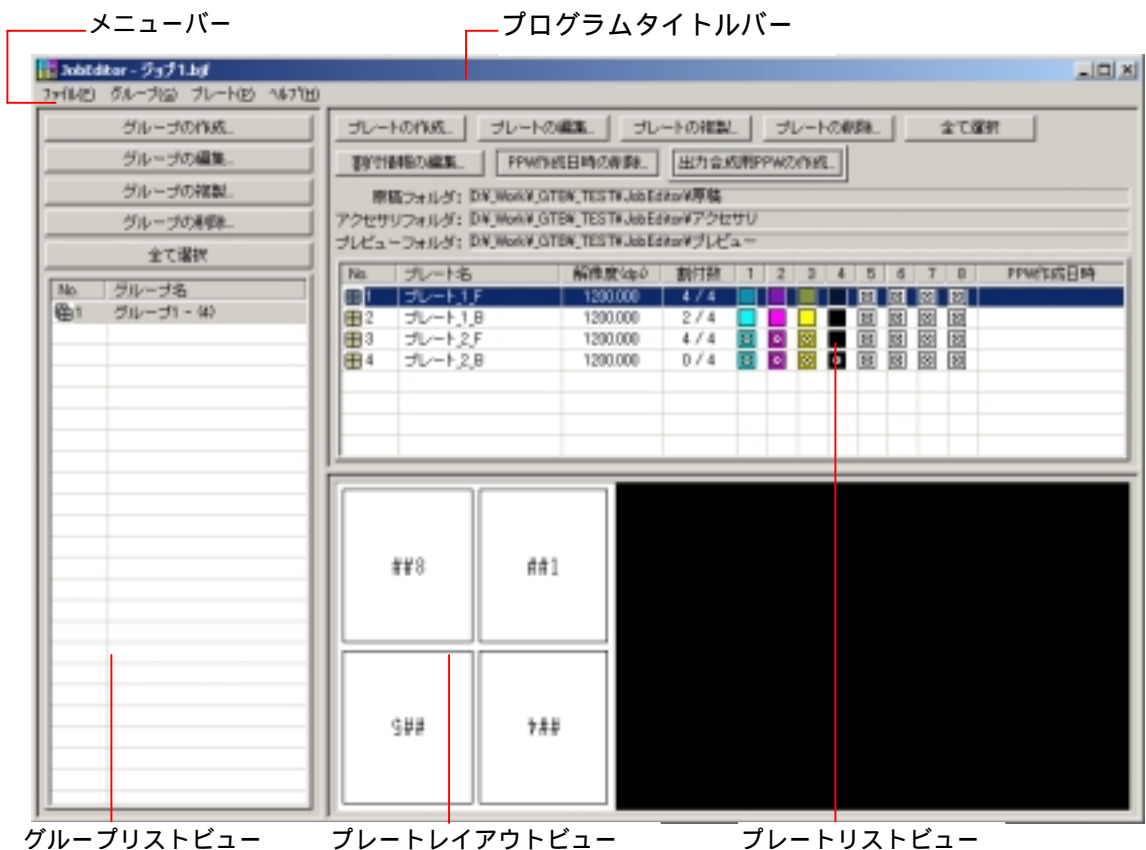
第二章

第二章 基本画面とメニュー

基本画面構成

メニュー項目

1 . 基本画面構成



グループリストビュー

プレートレイアウトビュー

プレートリストビュー

『プログラムタイトルバー』

ウィンドウやダイアログボックスの名前が表示されるバー。

『メニューバー』

メニュー名が表示されるバー。

『グループリストビュー』

作成されたグループの情報の一覧表示とグループの各処理実行ボタンを表示するビュー。

『プレートリストビュー』

作成されたプレートの情報の一覧表示とプレートの各処理実行ボタンを表示するビュー。

『プレートレイアウトビュー』

プレートリストビューで選択したプレートのレイアウトイメージを表示するビュー。

2 . メニュー構成

ファイル

ファイル関連の処理を実行するメニューです。

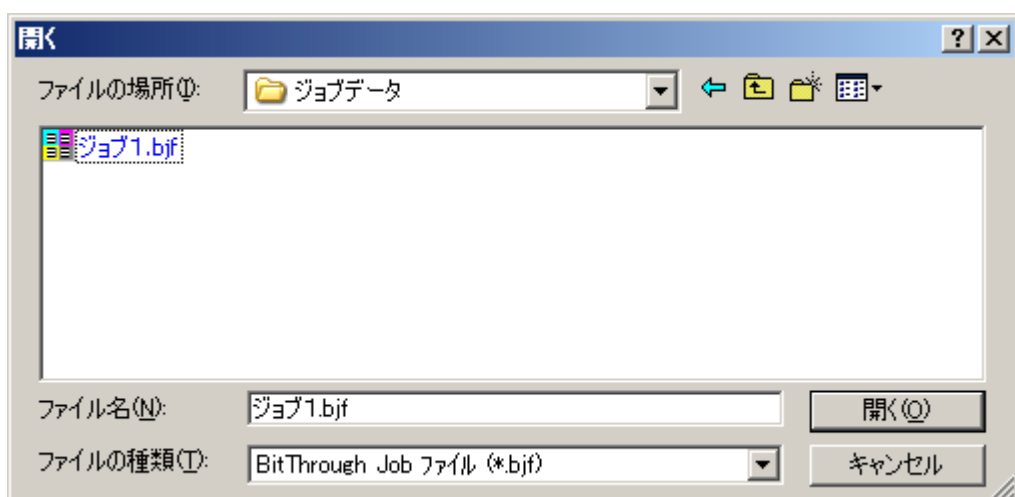
新規作成(N)	Ctrl+N
開く(O)...	Ctrl+O
上書き保存(S)	Ctrl+S
名前を付けて保存(A)...	
色版定義ファイルの編集(C)...	
システムの設定...	
PJTF→PPW変換実行...	
PJTF→PPW変換オプション...	
D:_GTB\...ジョブ1.bjf	
アプリケーションの終了(X)	

『新規作成』

新たにジョブを作成します。編集集中のジョブデータがある場合は保存及び破棄を促すメッセージを表示します。

『開く』

既存のジョブファイル (.bjf) を開きます。



『上書き保存』

編集中のジョブデータをファイルに上書きして保存します。

『名前をつけて保存』

編集中のジョブデータをファイルに別の名前をつけて保存します。

『色版定義ファイルの編集』

グループの色版情報として使用する色版定義情報のファイルを編集します。

『システムの設定』

システム設定を編集します。

『PJTF PPW 変換実行』

J-Plate で作成した PJTF ファイル (.jt) を PlatePlanner の PPW ファイルに変換します。

* 実行前にアクセサリファイル (.ps) を RIP で 1bitTIFF ファイルにしておく必要があります。

『PJTF PPW 変換オプション』

PJTF PPW 変換実行を行うときのオプションを設定します。

* RIP は種類や設定の違いで 1bitTIFF 化したときにページ番号の桁数が異なったり、回転している場合があるのでそれに合わせてオプションを設定しておく必要があります。

『“最近使ったファイル”』

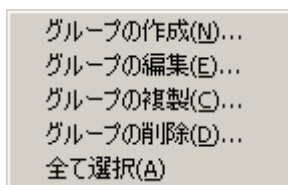
JpbEditor 最近編集したファイルがメニュー表示されます。メニューに表示しているジョブファイルを選択することでオープンダイアログ表示せずに直接 **JobEditor** にジョブデータを読み込みます。

『アプリケーションの終了』

JobEditor を終了します。編集中的数据がある場合は、保存及び破棄の指示を促すメッセージ画面を表示します。

グループ

グループの作成、編集、複製、削除などを行うメニューです。



『グループの作成...』

新たなグループ情報を作成し、グループリストビューに表示します。

『グループの編集...』

グループリストビューで選択状態のグループ情報を編集します。(単一選択のみ)

『グループの複製...』

グループリストビューで選択状態のグループ情報を複製します。(複数選択可)

『グループの削除...』

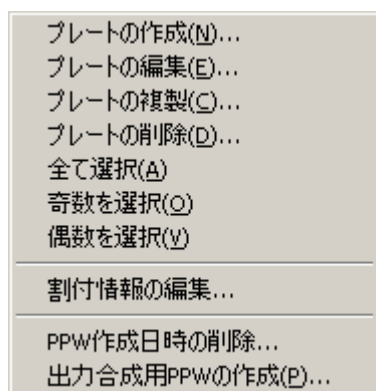
グループリストビューで選択状態のグループ情報を削除します。(複数選択可)

『全て選択』

グループリストビューのグループ情報を全て選択状態にします。

プレート

プレートの作成、編集、複製、削除などを行うメニューです。



『プレートの作成...』

新たなプレートを作成し、プレートリストビューに表示します。

『プレートの編集...』

プレートリストビューで選択状態のプレート情報を編集します。(複数選択可)

『プレートの複製...』

プレートリストビューで選択状態のプレート情報を複製します。(複数選択可)

『プレートの削除...』

プレートリストビューで選択状態のプレート情報を削除します。(複数選択可)

『全て選択』

プレートリストビューのプレート情報を全て選択状態にします。

『奇数を選択』

プレートリストビューの奇数番号のプレート情報だけを選択状態にします。

『偶数を選択』

プレートリストビューの偶数番号のプレート情報だけを選択状態にします。

『割付情報の編集...』

プレートリストビューで選択状態のプレートの原稿割付情報を編集します。(複数選択可)

『PPW 作成日時の削除...』

プレートリストビューで選択状態の PPW 作成日時を削除します。(複数選択可)

『出力合成用 PPW の作成...』

プレートリストビューで選択状態のプレート情報から出力用 PPW します。(複数選択可)

ヘルプ

プログラムの情報、バージョンそして著作権を表示します。

第三章

第三章 操作説明

- 1 . JobEditor の起動と終了
- 2 . ジョブファイルの操作
- 3 . 色版定義ファイルの操作
- 4 . PJTF PPW 変換
- 5 . グループ
- 6 . プレート

1 . JobEditor の起動と終了

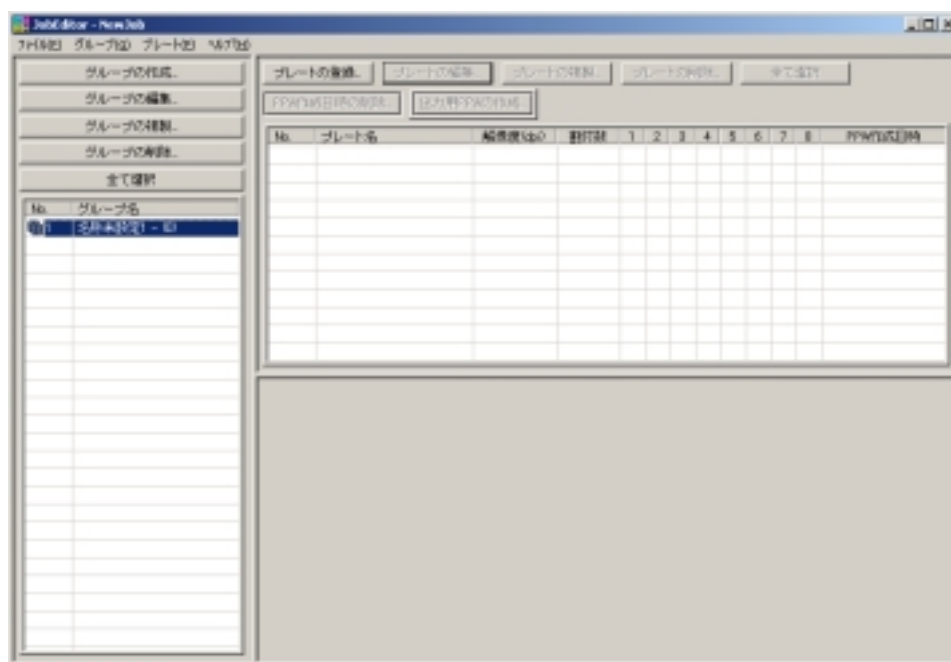
JobEditor の起動方法と終了方法について説明します。

1 - 1 . JobEditor の起動

1) メニューから「JobEditor.exe」のアイコンをダブルクリックします。

JobEditor が起動し、基本画面が表示されます。本プログラムは、Windows シングルドキュメントインターフェースを採用しており、プログラム起動時には自動的に新しいジョブデータが作成され開かれています。

【JobEditor メイン画面】



1 - 2 . JobEditor の終了

1) メニューから「ファイル」-「アプリケーションの終了」を選択します。

JobEditor が終了します。プログラムの終了は、タイトルバーの左端にあるプログラムアイコンをダブルクリックするか、タイトルバーの右端にある「x : 閉じる」アイコンをクリックすることでも行えます。

2 . ジョブファイルの操作

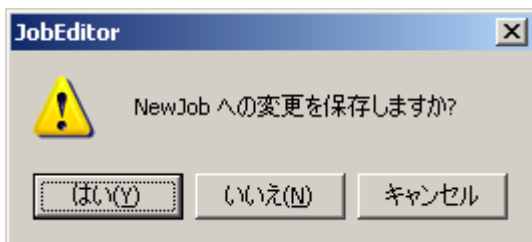
JobEditor を使用して行った割付け作業は、ジョブファイルとしてディスクに保存することができます。
ここでは、JobEditor のジョブファイルに関する操作の説明をします。

2 - 1 . ジョブデータの新規作成

JobEditor 起動時には、自動的に新しいジョブデータが作成され、編集出来る状態になっています。この時グループも自動的に1つ作成されます。また、ジョブデータを編集後、別の新しいジョブデータを作成するには、次の操作を行います。

- 1) メニューから「ファイル」-「新規作成」を選択します。

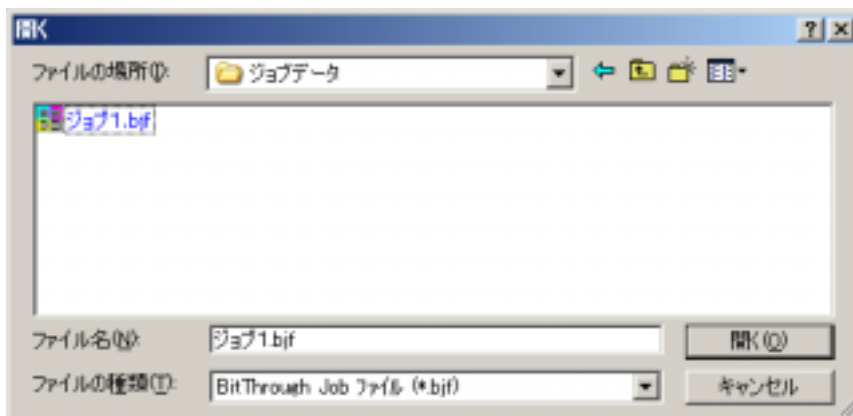
新しいジョブデータが作成されます。編集中のジョブデータに変更がある場合、新しいジョブデータを作成する前に保存を確認するメッセージを表示します。



2 - 2 . ジョブファイルを開く

- 1) メニューから「ファイル」-「開く...」を選択します。

「開く」ダイアログが表示されます。



2) 編集したいジョブファイル (.bjf) を選択して、「開く」ボタンをクリックします。

「開く」ダイアログを終了して、画面にジョブファイルの内容が表示します。

2 - 3 . ジョブデータの保存

ジョブデータの保存には、同一ファイルに上書き保存を行う場合と、別のファイル名を付けて別ファイルに保存する場合があります。

同一ファイル名称で上書き保存する

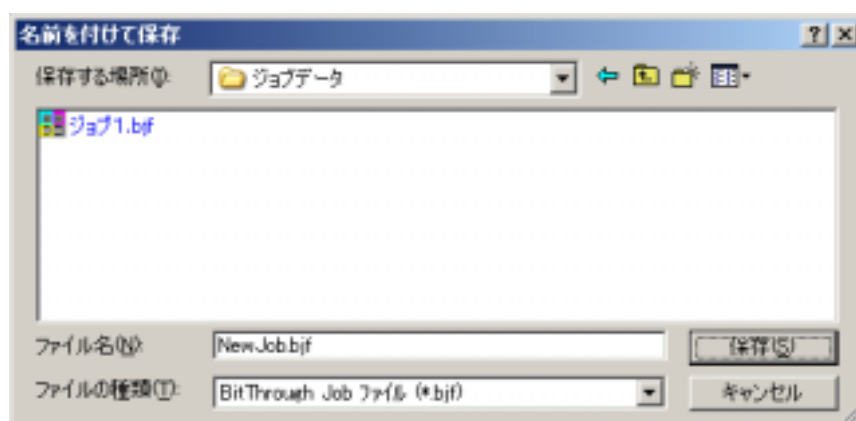
1) メニューから「ファイル」-「上書き保存」を選択します。

ディスクのジョブファイルに現在の編集中のジョブデータが上書き保存されます。新規のジョブデータの場合は「名前を付けて保存」ダイアログを表示します。「名前を付けて保存」ダイアログについては後述の「別名のファイル名称で保存する」を参照してください。

別名のファイル名称で保存する

1) メニューから「ファイル」-「別名保存」を選択します。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。



2) 保存するフォルダを指定し、ファイル名称 (拡張子を含めなくてよい) を入力して、「保存」ボタンをクリックします。

「.bjf」という拡張子の付いたジョブファイルがディスクに保存されます。

新規に作成された作業ファイルを「上書き保存」した場合には、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

3 . 色版定義ファイルの操作

JobEditor は色版定義を使用して分版された 1 bitTIFF ファイルの色版は識別します。色版定義ファイルは既定の色版定義ファイル以外にユーザが指定したフォルダに指定のファイル名で複数保存することが出来き、再度読み込むことが出来るので、定型の仕事の場合、あらかじめ複数の色版定義ファイル作成しておきそれらを読み込むことで、割付け作業の度に詳細な色版情報の設定を行う手間を省略することが出来ます。ここでは、**JobEditor** の色版定義ファイルに関する操作の説明をします。

3 - 1 . 色版定義ファイルの編集

ジョブデータは各グループ毎に色版定義の情報を持っています。グループを作成する際、既定の色版定義ファイルの内容を反映します。

色版定義は 1 ~ 8 番色の 8 色に固定されています。色版定義の情報には、“色 No.”、**JobEditor** が原稿及びアクセサリの登録時に色版データ識別するための“参照名”（RIP によって付加される色版データの色名）、カラー表示のための“各色要素”（“Cyan”、“Magenta”、“Yellow”、“Black”）があり、それらの設定はいつでも変更することができます。また左端の は使用色の指定になっておりチェック ON は使用色で、チェック OFF は未使用となります、ここでの使用色の指定はグループ作成時にも反映され、原稿割付けの既定値として使用されます。

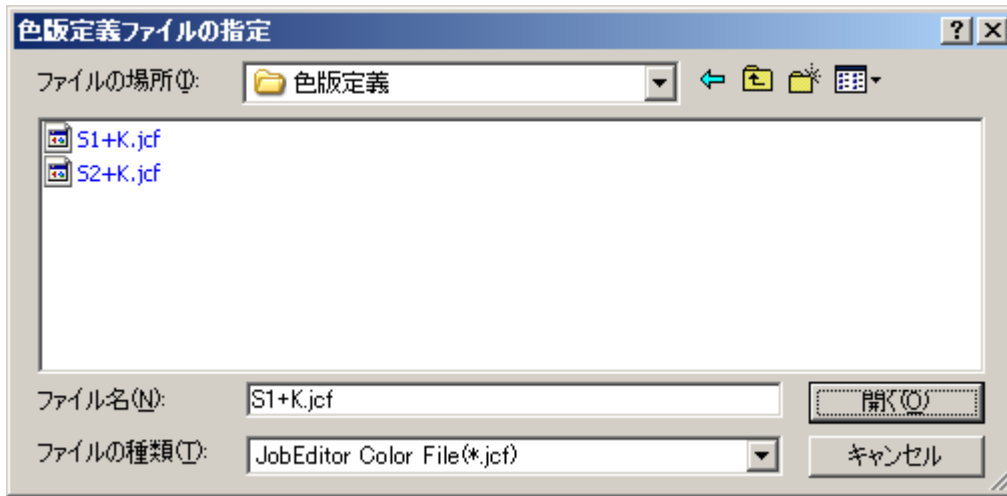
色版定義ファイルの内容を表示

1) 「ファイル」- 「色版定義ファイルの編集…」メニューを選択します。

「色版定義ファイルの編集」ダイアログを表示し、自動的に既定の色版定義ファイルを開きます。

2) 既定の色版定義ファイル以外の定義内容を表示する場合は、「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、「開く…」ボタンをクリックします。

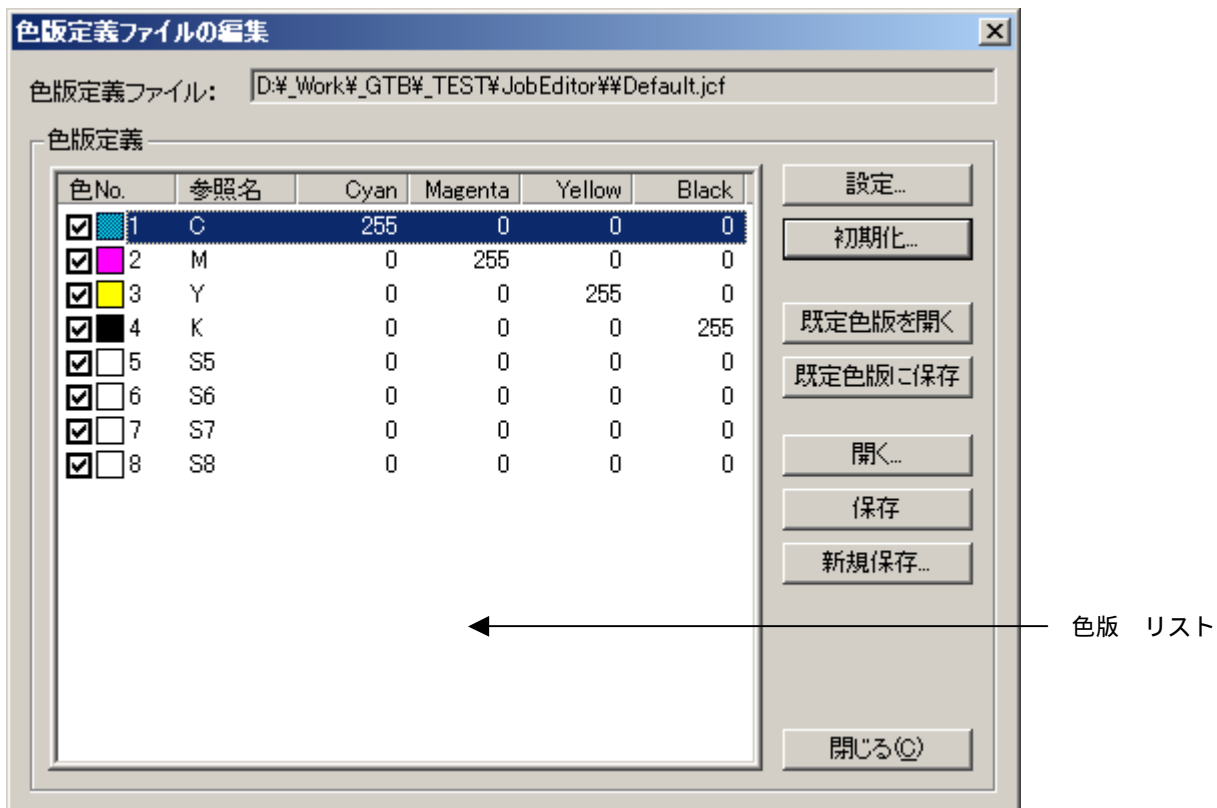
「色版定義ファイルの指定」ダイアログを表示します。開きたい色版定義ファイルを指定して「開く」ボタンをクリックしすると指定の色版定義ファイルを開き「色版定義ファイルの指定」ダイアログ終了します。



3) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、「閉じる」をクリックします。

「色版定義ファイルの編集」ダイアログを終了します。

【「色版ファイルの編集」ダイアログ】



・色版定義ファイル

編集対象の色版定義ファイルのフルパスを表示します。

- ・色版 リスト

編集対象の色版定義ファイルの定義内容をリストに表示します。

【リスト項目】

- ・色 No.

色版の使用チェックと色版番号とカラーイメージアイコンを表示します。この番号は **JobEditor** がリスト等の項目表示に使用します。

- ・参照名

色版の参照名を表示します。**JobEditor** が原稿及びアクセサリの登録時に、1 bitTIFF ファイルと色版の対応を識別するために使用します。

- ・Cyan

カラー表示用の Cyan 要素の値 (0 ~ 2 5 5 または 0 ~ 1 0 0) を表示します。

- ・Magenta

カラー表示用の Magenta 要素の値 (0 ~ 2 5 5 または 0 ~ 1 0 0) を表示します。

- ・Yellow

カラー表示用の Yellow 要素の値 (0 ~ 2 5 5 または 0 ~ 1 0 0) を表示します。

- ・Black

カラー表示用の Black 要素の値 (0 ~ 2 5 5 または 0 ~ 1 0 0) を表示します。

- ・設定

「色版」リストで選択している色版を設定します。「色版の設定」ダイアログを表示します。

- ・初期化

色版定義を初期状態に戻します。

- ・既定色版を開く

既定の色版定義ファイルを開きます。既定の色版定義ファイルは本アプリケーションと同一のフォルダに “Default.jcf” というファイル名で格納されています。

- ・既定色版に保存

編集中的色版定義データを既定の色版定義ファイルに上書き保存します。

- ・開く

保存している色版定義ファイルを指定して開きます。「色版定義ファイルの指定」画面を表示します。色版定義ファイルの拡張子は「.jcf」です。

- ・保存

編集中の色版定義データを編集対象の色版定義ファイルに上書き保存します。

- ・新規保存

編集中の色版定義データを新たな色版定義ファイルに名前を付けて保存します。「色版定義ファイルの保存」ダイアログを表示します。

- ・閉じる

「色版定義ファイルの編集」ダイアログを終了します。定義データが変更されている場合は、終了前に保存か破棄の指示を促すメッセージが表示されます。

色版の設定を変更する

1つの色版定義データの内容を設定します。

1) 「ファイル」- 「色版定義ファイルの編集...」メニューを選択します。

「色版定義ファイルの編集」ダイアログを表示し、自動的に既定の色版定義ファイルを開きます。

2) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、既定の色版定義ファイル以外を編集する場合、「開く...」ボタンをクリックします。必要ない場合は3)の操作に進みます。

「色版定義ファイルの指定」ダイアログを表示します。ダイアログで編集したい色版定義ファイルを指定して「開く」ボタンをクリックします。「色版定義ファイルの指定」ダイアログ終了し、指定の色版定義ファイルを開きます。

3) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、「設定...」ボタンをクリックします。

「色版の設定」ダイアログを表示します。

4) 「色版の設定」ダイアログで、「色版名」(PlatePlanner 互換用)、「参照名」、各色要素(「Cyan」、「Magenta」、「Yellow」、「Black」)を設定して「OK」ボタンをクリックします。

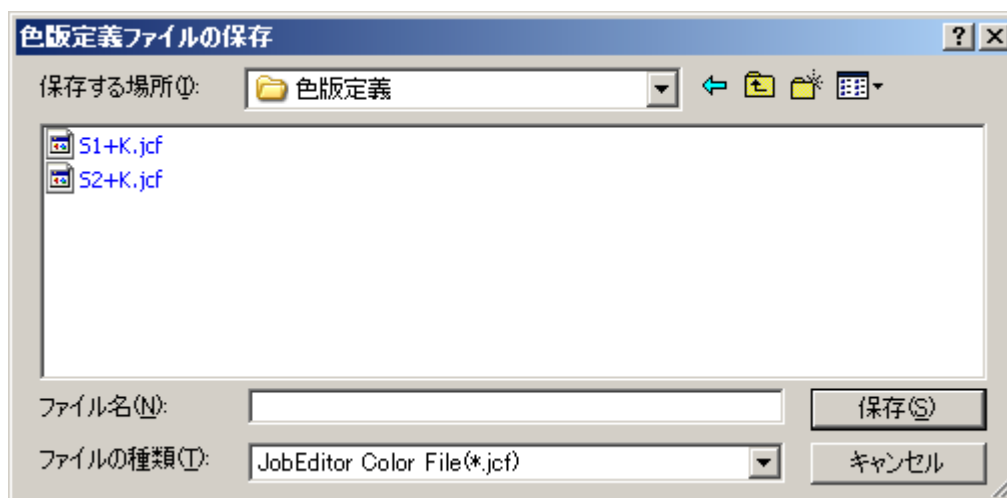
「色版定義ファイルの編集」ダイアログの「色版」リスト表示を更新して「色版の設定」ダイアログを終了します。

5) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、「初期化...」ボタンをクリックします。

編集中の色版定義データを初期状態にし「色版」リストを更新します。

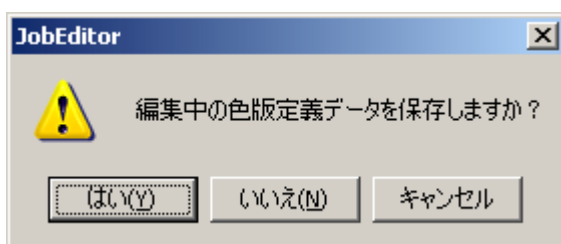
6) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、編集中の色版定義を保存する場合、目的に合わせて「保存」、「新規保存...」、または「既定色版に保存」ボタンをクリックします。必要ない場合は7)の操作に進みます。

- ・「保存」ボタンをクリックした場合、編集中の色版定義データを編集対象の色版定義ファイルに上書き保存します。
- ・「新規保存...」ボタンをクリックした場合、「色版定義ファイルの保存」ダイアログ表示します。ダイアログで保存フォルダを指定し、ファイル名を入力または選択して「OK」ボタンをクリックします。「色版定義ファイルの保存」ダイアログを終了し、編集中の色版定義データを新たな色版定義ファイルを指定のフォルダに指定のファイル名で保存し、編集対象を保存したファイルに切り替えます。
- ・「既定色版に保存」ボタンをクリックした場合、編集中の色版定義の内容を既定の色版定義ファイルに保存し、編集対象を既定の色版定義ファイルに切り替えます。

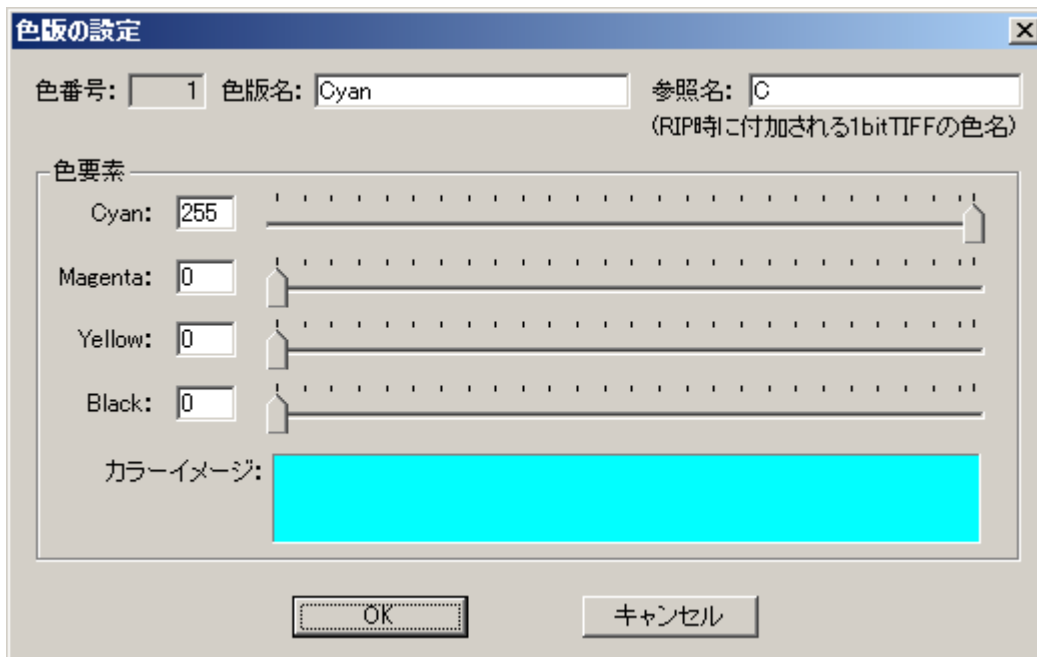


7) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、「閉じる」ボタンをクリックします。

「色版定義ファイルの編集」ダイアログを終了します。色版ダイアログを終了します。定義データが変更を保存していない場合は、終了前に保存か破棄の指示を促すメッセージが表示されます。



【「色版の設定」ダイアログ】



・色番号

色番号を表示します。色番号は変更することは出来ません。この色番号は、**JobEditor** がリスト等の項目表示に使用します。

・色版名

色版名を表示します。変更する場合は新たな名称を入力します。

この名称はユーザ自身が色版を識別するための名称で、**PlatePlanner** などがリスト等の項目表示に使用します。**JobEditor** では使用しません。（**PlatePlanner** 互換用）

・参照名

色版の参照名を表示します。変更する場合は新たな名称を入力します。

この名称は **JobEditor** が色版を識別するための名称で、原稿の割付け時に網点（色版）ファイルと色版を対応付けの為に使用します。参照名の大文字、小文字の区別はありません。

重要：RIP よって網点（色版）ファイルの名称に付加される色名を入力してください。

・Cyan

カラー表示用の Cyan 要素の値（0～255または0～100）を表示します。変更する場合は値を入力するか、スライダーバーを操作します。

・Magenta

カラー表示用の Magenta 要素の値（0～255または0～100）を表示します。変更する場合は値を入力するか、スライダーバーを操作します。

・Yellow

カラー表示用の Yellow 要素の値（0～255または0～100）を表示します。変更する場合は値を入力するか、スライダーバーを操作します。

- ・ Black

カラー表示用の Black 要素の値 (0 ~ 255 または 0 ~ 100) を表示します。変更する場合は値を入力するか、スライダーバーを操作します。

- ・ カラーイメージ

Cyan、Magenta、Yellow、Black の設定値からカラーのイメージをリアルタイムに表示します。

- ・ OK

設定を確定してダイアログを終了します。

- ・ キャンセル

何もせずにダイアログを終了します。

色版定義を初期状態にする

色版定義データ初期状態にします。

1) 「ファイル」 - 「色版定義ファイルの編集...」メニューを選択します。

「色版定義ファイルの編集」ダイアログを表示し、自動的に既定の色版定義ファイルを開きます。

2) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、既定の色版定義ファイル以外を初期化する場合、「開く...」ボタンをクリックします。必要ない場合は3)の操作に進みます。

「色版定義ファイルの指定」ダイアログを表示します。ダイアログで編集したい色版定義ファイルを指定して「開く」ボタンをクリックします。「色版定義ファイルの指定」ダイアログ終了し、指定の色版定義ファイルを開きます。

3) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、「初期化...」ボタンをクリックします。

初期化実行の確認メッセージを表示します。「OK」ボタンをクリックすると編集中の色版定義の内容を初期状態にして表示を更新します。「キャンセル」ボタンをクリックした場合はなにもしません。



4) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、編集中の色版定義を保存する場合、目的に合わせて「保存」、「新規保存...」、またはは「既定色版に保存」ボタンをクリックします。必要ない場合は5)の操作に進みます。

- ・「保存」ボタンをクリックした場合、編集中的色版定義データを編集対象の色版定義ファイルに上書き保存します。
 - ・「新規保存…」ボタンをクリックした場合、「色版定義ファイルの保存」ダイアログ表示します。ダイアログで保存フォルダを指定し、ファイル名を入力または選択して「OK」ボタンをクリックします。「色版定義ファイルの保存」ダイアログを終了し、編集中的色版定義データを新たな色版定義ファイルを指定のフォルダに指定のファイル名で保存し、編集対象を保存したファイルに切り替えます。
 - ・「既定色版に保存」ボタンをクリックした場合、編集中的色版定義の内容を既定の色版定義ファイルに保存し、編集対象を既定の色版定義ファイルに切り替えます。
- 5) 「色版定義ファイルの編集」ダイアログで、「閉じる」ボタンをクリックします。
- 「色版定義ファイルの編集」ダイアログを終了します。色版定義の変更を保存していない場合は、終了前に保存か破棄の指示を促すメッセージが表示されます。

4 . システム設定

JobEditor のシステム全体に対する設定の編集、保持することができます。ここでは、JobEditor のシステム設定に関する操作の説明をします。

4 - 1 . システムの設定

ジョブファイルに依存しない、JobEditor の設定を編集、保持します。

システムの設定を編集する

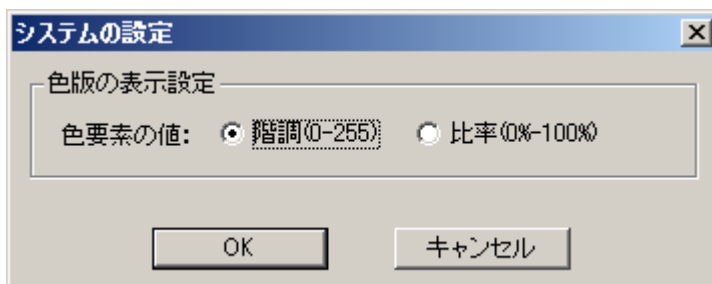
1) 「ファイル」- 「システムの設定...」メニューを選択します。

「システムの設定」ダイアログを表示します。

2) 「システムの設定」ダイアログで、「色版の表示設定」(階調(0-255) / 比率(0%-100%)) を設定し「OK」ボタンをクリックします。

「システムの設定」ダイアログを終了します。

【「システムの設定」ダイアログ】



・色要素の値

色版の各色要素の表示方法を表示します。ここで指定した表示方法に従い色版の各色要素の値を表示します。

5 . PJTF PPW 変換

JobEditor は面付けファシリスのオプションである **J-Plate** で作成されたジョブチケットファイル (.jt) を **PlatePlanner** の作業ファイル (.ppw) に変換する機能を内蔵しています。**PlatePlanner** は殖版や大貼りに特化しているため、ページ面付けを行う場合少々手間がかかります。**JobEditor** ではページ面付けに特化したファシリスで作成されたの台割りデータ (ジョブチケット) を **PlatePlanner** の作業ファイル (PPW) に変換する機能を用意することにより、ページ面付けにおけるユーザの負担を軽減することが可能になっています。ここでは、**JobEditor** の PJTF PPW 変換に関する操作の説明をします。

4 - 1 . PJTF PPW 変換実行

PJTF PPW 変換オプション及び既定の色版定義データの設定に基づき PJTF を PPW に変換します。この機能を使用するにあたりいくつかの注意事項を以下に示します。この注意事項が守られていない場合、**JobEditor** はこの変換機能を正常に実行することが出来なくなります。

注意 1) **J-Plate** の出力設定で “ **PlateGenerator** ” 用のジョブチケットファイルを作成するように指定されている必要があります。

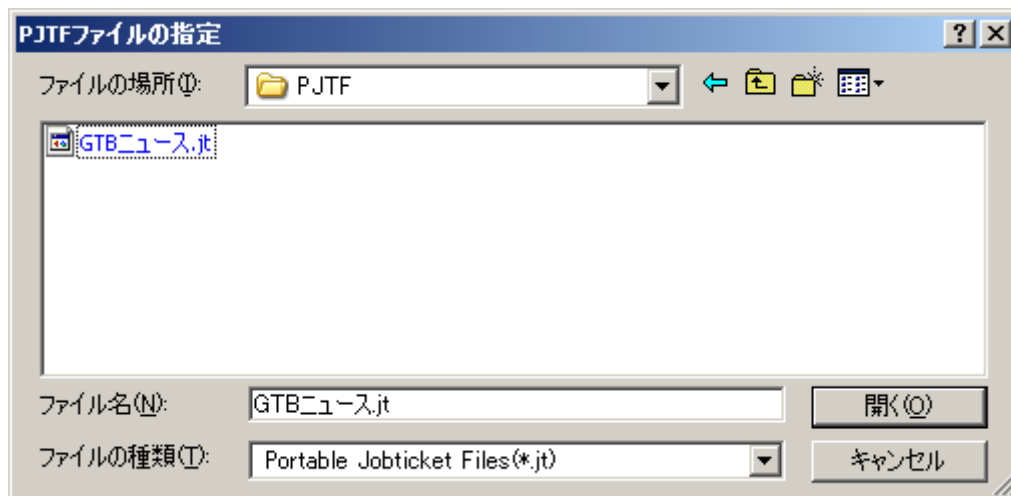
注意 2) **J-Plate** にてジョブチケットファイルを作成した際、同一のフォルダに PostScript 形式 (.ps) のアクセサリファイルも同時に作成されます。このアクセサリファイルを PJTF PPW 変換実行の前に RIP にて 1bitTIFF データにしておく必要があります。尚、この 1bitTIFF 化したアクセサリファイルは **PlateGenerator** 等で刷版合成実行時に使用されるので、削除したり、他のフォルダに移動しないようにしてください。

PJTF PPW 変換を実行する

PJTF 形式のファイルを PPW 形式のファイルに変換します。

1) 「ファイル」 - 「PJTF PPW 変換実行...」メニューを選択します。

「PJTF ファイルの指定」ダイアログを表示します。



2) 変換を実行するジョブチケットファイル(.jt)を指定して、「開く」ボタンをクリックします。

変換処理を実行して処理結果を表示します。

4 - 2 . PJTF PPW 変換オプション

RIP の設定や種類によって PostScript 時と 1bitTIFF 時で台紙データ等の方向が異なったり、1bitTIFF ファイル名に含まれるページ番号の桁数が異なったりする場合があります。ここではそれらの指定を行うことで、RIP の設定や種類の違いによる PJTF PPW 変換実行時のエラーや、PlateGenerator 等での合成時の不整合が起きないようにします。

PJTF PPW 変換時の処理オプションを設定する

PJTF 形式のファイルを PPW 形式のファイルに変換する時の処理オプションを設定します。

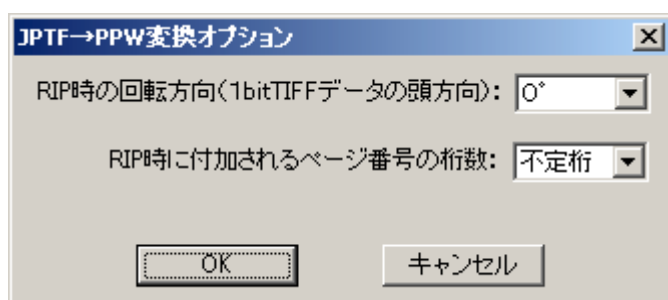
1) 「ファイル」 - 「PJTF PPW 変換オプション...」メニューを選択します。

「PJTF 変換オプション」ダイアログを表示します。

2) 「PJTF 変換オプション」ダイアログで、「RIP 時の回転方向 (1 bit TIFF データの頭方向)」と「RIP 時に付加されるページ番号の桁数」を指定して「OK」ボタンをクリックします。

設定をを確定して「PJTF 変換オプション」ダイアログを終了します。

【「PJTF PPW 変換オプション」ダイアログ】



- ・ RIP 時の回転方向（1bitTIFF データの頭方向）
RIP 時の台紙データ等の回転方向を表示します。変更する場合は項目の をクリックしてドロップしたリストから新たな回転方向を指定します。（0°、右90°、180°、左90°）
- ・ RIP 時に付加されるページ番号の桁数
RIP 時に 1bitTIFF ファイルのファイル名に付加されるページ番号の桁数を表示します。変更する場合は項目の をクリックしてドロップしたリストから新たな桁数を指定します。（不定桁、2桁、3桁... 8桁）
- ・ OK
「PJTF PPW 変換オプション」ダイアログを終了し、変換オプションを記憶します。
- ・ キャンセル
「PJTF PPW 変換オプション」ダイアログを終了します。

6 . グループ

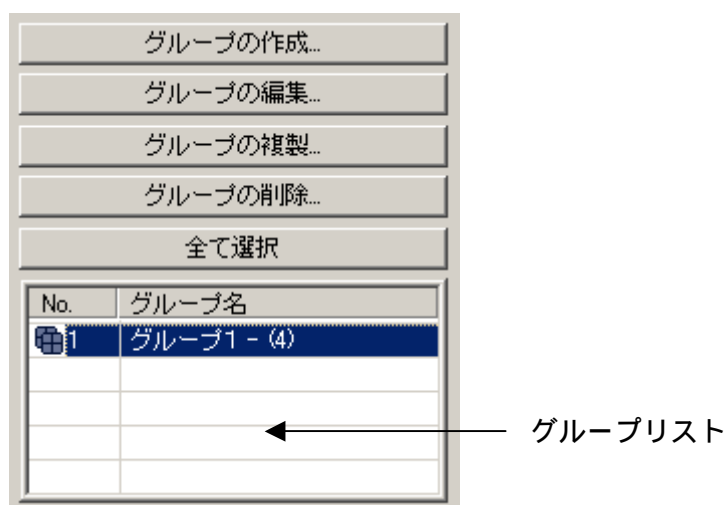
JobEditor ではグループと呼ばれるプレート郡をまとめる単位があります。グループの設定にはユーザーがグループを判別するための「グループ名」、原稿 (1bitTIFF) ファイルの色版を判別するための「色版定義」があります。グループにプレートを作成する際、プレート及びプレートに割付ける原稿はこれらのグループ設定の条件に適合している必要があります。

JobEditor は新規作成 (新規ジョブ作成) 時、自動的にグループを1つ作成します。

6 - 1 . グループの一覧

JobEditor のメイン画面の左側はグループビューといい、グループに関する操作ボタンとグループの一覧を表示するグループリストで構成されています。

【グループビュー】



・グループの作成

グループを新規に作成する場合、このボタンをクリックします。メニューの「グループ」 - 「グループの作成...」をクリックした時と同じ動作をします。

・グループの編集

グループリストで選択しているグループを編集する場合、このボタンをクリックします。メニューの「グループ」 - 「グループの編集...」をクリックした時と同じ動作をします。(単一選択のみ)

・グループの複製

グループリストで選択しているグループを複製する場合、このボタンをクリックします。メニューの「グループ」 - 「グループの複製...」をクリックした時と同じ動作をします。(複数選択可)

- ・グループの削除

グループリストで選択しているグループを削除する場合、このボタンをクリックします。メニューの「グループ」 - 「グループの削除...」をクリックした時と同じ動作をします。（複数選択可）

- ・全て選択

グループリストに表示しているグループを全て選択状態にする場合、このボタンをクリックします。メニューの「グループ」 - 「全て選択」をクリックした時と同じ動作をします。

【リスト項目】

- ・ No.

グループ番号とグループアイコンを表示します。

- ・グループ名

グループ名と - 右側の () 内にグループ内に作成されているプレート数を表示します。

6 - 2 . グループの作成・編集

グループの設定を見る

グループの設定を表示します。

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで設定を表示したいグループをクリックします。ダブルクリックすると2) の操作を省略できます。

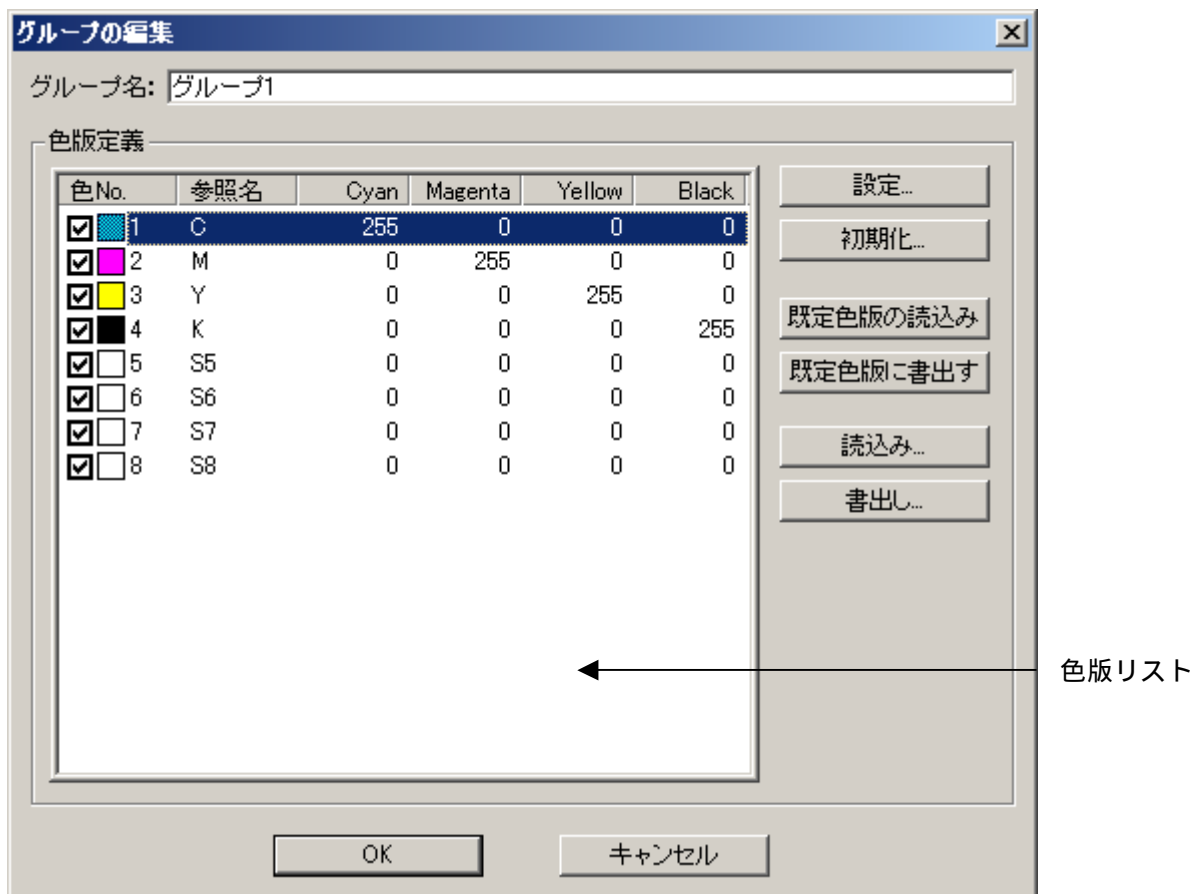
2) 「グループ」 - 「グループの編集...」メニューか「グループ」ビューの「グループの編集...」ボタンをクリックします。

「グループの編集」ダイアログに1) で選択したグループの設定内容を表示します。

3) 「グループの編集」ダイアログで、「キャンセル」ボタンをクリックします。

「グループの編集」ダイアログを終了します。

【「グループの編集」ダイアログ】



・グループ名

グループの名称を表示します。変更する場合は項目に新たなグループ名を入力します。

・色版 リスト

グループの色版定義の内容を一覧表示します。

【リスト項目】

・色 No.

色版の使用チェックと色版番号とカラーイメージアイコンを表示します。この番号は **JobEditor** がリスト等の色版項目表示に使用します。

・参照名

色版の参照名を表示します。**JobEditor** が原稿及びアクセサリの登録時に、1 bitTIFF ファイルと色版の対応を識別するために使用します。

・Cyan

カラー表示用の Cyan 要素の値 (0 ~ 255 または 0 ~ 100) を表示します。

- ・ Magenta

カラー表示用の Magenta 要素の値 (0 ~ 2 5 5 または 0 ~ 1 0 0) を表示します。

- ・ Yellow

カラー表示用の Yellow 要素の値 (0 ~ 2 5 5 または 0 ~ 1 0 0) を表示します。

- ・ Black

カラー表示用の Black 要素の値 (0 ~ 2 5 5 または 0 ~ 1 0 0) を表示します。

- ・ 設定

「色版」リストで選択している色版を設定します。「色版の設定」ダイアログを表示します。

* 「色版の設定」ダイアログについては、本章の「3 - 1 . 色版定義ファイルの編集 - 色版定義ファイルの内容を表示」を参照

- ・ 初期化

グループの色版定義を初期状態に戻します。

- ・ 既定色版の読み込み

グループの色版定義の内容を既定の色版定義ファイルを読み込んで内容を置き換えます。既定の色版定義ファイルは本アプリケーションと同一のフォルダに“ Default.jcf ”というファイル名で格納されています。

- ・ 既定色版に書出し

グループの色版定義の内容を既定の色版定義ファイルに書き出します。

- ・ 読み込み

グループの色版定義の内容をユーザが指定した色版定義ファイルを読み込んで内容を置き換えます。

「色版定義ファイルの指定」ダイアログを表示します。色版定義ファイルの拡張子は「.jcf」です。

* 「色版定義ファイルの指定」ダイアログについては、本章の「3 - 1 . 色版定義ファイルの編集 - 色版の設定を変更する」を参照

- ・ 書出し

グループの色版定義の内容をユーザが指定した色版定義ファイルに書き出します。「色版定義ファイルの保存」ダイアログを表示します。

* 「色版定義ファイルの保存」ダイアログについては、本章の「3 - 1 . 色版定義ファイルの編集 - 色版の設定を変更する」を参照

- ・ OK

「グループの編集」ダイアログを終了し、グループの設定を更新します。

- ・ キャンセル

「グループの編集」ダイアログを終了します。

新たにグループを作成する

新たなグループを作成します。グループ作成時の色版定義の内容には既定の色版定義ファイルの内容が自動的に読み込まれます。

*グループの色版定義は、色版定義ファイルと連動していないためグループ作成後に色版ファイルの内容を変更してもグループの色版定義には影響しません。

- 1) 「グループ」 - 「グループの作成...」メニューか「グループ」ビューの「グループの作成...」ボタンをクリックします。

「グループの作成」ダイアログを表示します。

- 2) 「グループの作成」ダイアログで、グループの色版定義の内容に色版定義ファイルの内容を読み込む場合、目的に合わせて「既定色版の読み込み」、または「読み込み...」ボタンをクリックします。必要ない場合は3)の操作に進みます。

- ・「既定色版の読み込み」ボタンをクリックした場合、グループの色版定義の内容を既定の色版定義ファイルの内容に置き換えます。
- ・「読み込み...」ボタンをクリックした場合、「色版定義ファイルの指定」ダイアログを表示します。ダイアログで読み込みたい色版定義ファイルを指定して「開く」ボタンをクリックします。「色版定義ファイルの指定」ダイアログ終了し、グループの色版定義の内容を指定の色版定義ファイルの内容に置き換えます。

- 3) 「グループの作成」ダイアログで、「グループ名」、「色版定義」の設定を行い「OK」ボタンをクリックします。グループの色版定義の内容を色版定義ファイルに書き出す場合、「OK」ボタンをクリックする前に「書出し...」、または「既定色版の書出し」ボタンをクリックします。

- ・「書出し...」ボタンをクリックした場合、「色版定義ファイルの保存」ダイアログ表示します。そのダイアログで書出しフォルダを指定し、ファイル名を入力または選択し、「OK」ボタンをクリックします。「色版定義ファイルの保存」ダイアログを終了し、グループの色版定義の内容を指定のフォルダに指定のファイルに書き出します。
- ・「既定色版に書出し」ボタンをクリックした場合、グループの色版定義の内容を既定の色版定義ファイルに書き出します。
- ・「OK」ボタンをクリックした場合、「グループの作成」ダイアログを終了し、「グループの作成」ダイアログで設定した内容で新たにグループを作成します。

【「グループの作成」ダイアログ】

*ダイアログの内容については、本章の「6 - 2 . グループの作成・編集 - グループの設定を見る」の「グループの編集」ダイアログを参照

グループの設定を編集する

グループリストで選択したグループの設定を編集します。

- 1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで設定を表示したいグループを1つ選択します。ダブルクリックすると2)の操作を省略できます。
- 2) 「グループ」-「グループの編集...」メニューか「グループ」ビューの「グループの編集...」ボタンをクリックします。

「グループの編集」ダイアログを表示します。

- 3) 「グループの編集」ダイアログで、グループの色版定義の内容に色版定義ファイルの内容を読み込む場合、目的に合わせて「既定色版の読み込み」、または「読み込み...」ボタンをクリックします。必要ない場合は3)の操作に進みます。

- ・「既定色版の読み込み」ボタンをクリックした場合、グループの色版定義の内容を既定の色版定義ファイルの内容に置き換えます。
- ・「読み込み...」ボタンをクリックした場合、「色版定義ファイルの指定」ダイアログを表示します。ダイアログで読み込みたい色版定義ファイルを指定して「開く」ボタンをクリックします。「色版定義ファイルの指定」ダイアログ終了し、グループの色版定義の内容を指定の色版定義ファイルの内容に置き換えます。

- 4) 「グループの編集」ダイアログで、「グループ名」、「色版定義」の設定を行い「OK」ボタンをクリックします。グループの色版定義の内容を色版定義ファイルに書き出す場合、「OK」ボタンをクリックする前に「書出し...」、または「既定色版の書出し」ボタンをクリックします。

- ・「書出し...」ボタンをクリックした場合、「色版定義ファイルの保存」ダイアログ表示します。そのダイアログで書出しフォルダを指定し、ファイル名を入力または選択し、「OK」ボタンをクリックします。「色版定義ファイルの保存」ダイアログを終了し、グループの色版定義の内容を指定のフォルダに指定のファイルに書き出します。
- ・「既定色版に書出し」ボタンをクリックした場合、グループの色版定義の内容を既定の色版定義ファイルに書き出します。
- ・「OK」ボタンをクリックした場合、「グループの編集」ダイアログを終了し、「グループの編集」ダイアログで設定した内容で編集対象のグループを更新します。

【「グループの編集」ダイアログ】

*ダイアログの内容については、本章の「6 - 2 . グループの作成・編集 - グループの設定を見る」の「グループの編集」ダイアログを参照

6 - 3 . グループの複製

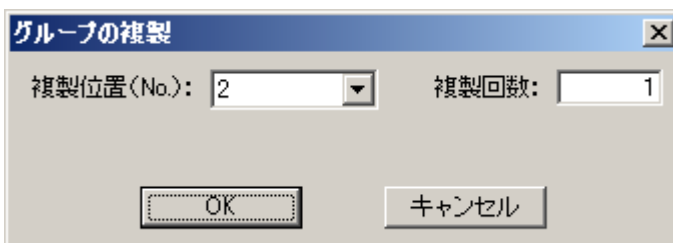
グループを複製する

グループリストで選択したグループを複製します。（複数選択可）

- 1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで複製したいグループを選択します。
- 2) 「グループ」 - 「グループの複製...」メニューか「グループ」ビューの「グループの複製...」ボタンをクリックします。
「グループの複製」ダイアログを表示します。
- 3) 「グループの複製」ダイアログで、「複製位置 (No.)」、「複製回数」を指定して「OK」ボタンをクリックします。

「グループの複製」ダイアログを終了し、選択したグループを指定に従い複製します。コピー先のグループ名はコピー元の“グループ名” + “_COPY” + “一意の番号” になります。

【「グループの複製」ダイアログ】



・複製位置 (No.)

複製する位置を表示します。変更をする場合は項目の をクリックしてドロップしたリストから新たな複製位置を指定します。（1 ~ グループ数）

・複製回数

複製回数を表示します。変更をする場合は項目に新たな複製回数を入力してください。

・OK

「グループの複製」ダイアログを終了し、指定に従い選択したグループを複製します。

・キャンセル

「グループの複製」ダイアログを終了します。

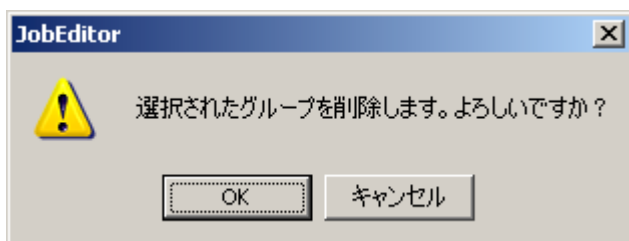
6 - 4 . グループの削除

グループを削除する

グループリストで選択したグループを削除します。(複数選択可)

- 1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで削除したいグループを選択します。
- 2) 「グループ」-「グループの削除…」メニューか「グループ」ビューの「グループの削除…」ボタンをクリックします。

グループの削除を確認するメッセージ画面を表示します。



- 3) メッセージ画面で「OK」ボタンをクリックします。

メッセージ画面を閉じて、選択したグループを削除します。

7 . プレート

JobEditorのプレートとは「プレートの作成」操作により**PlatePlanner**のPPW(レイアウト)ファイル中の刷版レイアウト情報をテンプレートとして取り込んだ情報のことを言います。そしてそのプレートに対して原稿の割付け作業を行います。プレートの情報にはユーザがプレートを判別するための「プレート名」、プレートの「解像度」、プレートに割付ける原稿(1bitTIFF)ファイルの格納フォルダを示す「原稿フォルダ」、プレートに配置されているアクセサリ(1bitTIFF)ファイルの格納フォルダを示す「アクセサリフォルダ」、既存原稿のプレビュー表示に使用するプレビューファイルの格納フォルダを示す「プレビューフォルダ」、そしてプレートに配置された原稿に対する原稿(1bit)があります、原稿に割付ける情報は、原稿(1bitTIFF)ファイルのベース名と使用色の設定です。

割付けの方法は色々なやり方があり既存の原稿だけでなく存在しない原稿も名前と使用色を指定することで事前に割り付けることが出来ます。さらにページ連番発生機能を使用すればページ物の原稿にも対応することが出来ます。

7 - 1 . プレートの一覧

JobEditorのメイン画面の右側上段はプレートビューといい、プレートに関する操作ボタンとプレートの一覧を表示するプレートリストで構成されています。

【プレートビュー】



・プレートの作成...

プレートを作成する場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「プレートの作成...」をクリックした時と同じ動作をします。

・プレートの編集...

プレートリストで選択しているプレートを編集する場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「プレートの編集...」をクリックした時と同じ動作をします。(複数選択可)

- ・プレートの複製...
プレートリストで選択しているプレートを複製する場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「プレートの複製...」をクリックした時と同じ動作をします。（複数選択可）
- ・プレートの削除...
プレートリストで選択しているプレートを削除する場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「プレートの削除...」をクリックした時と同じ動作をします。（複数選択可）
- ・全て選択
プレートリストに表示しているプレートを全て選択状態にする場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「全て選択」をクリックした時と同じ動作をします。
- ・奇数を選択
プレートリストに表示している奇数番号のプレートだけを選択状態にする場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「奇数を選択」をクリックした時と同じ動作をします。
- ・偶数を選択
プレートリストに表示している偶数番号のプレートだけを選択状態にする場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「偶数を選択」をクリックした時と同じ動作をします。
- ・割付情報の編集...
プレートリストで選択しているプレートの原稿割付情報を編集する場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「割付情報の編集...」をクリックした時と同じ動作をします。（複数選択可）
- ・PPW 作成日時の削除...
プレートリストで選択しているプレートの PPW 作成日時を削除する場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「PPW 作成日時の削除...」をクリックした時と同じ動作をします。（複数選択可）
- ・出力合成用 PPW の作成...
プレートリストで選択しているプレートの出力合成用 PPW ファイルを作成する場合、このボタンをクリックします。メニューの「プレート」 - 「出力合成用 PPW の作成...」をクリックした時と同じ動作をします。（複数選択可）
- ・プレートリスト
グループに作成されているプレートの一覧を表示します。

【リスト項目】

- ・ No.

プレート番号とプレートアイコンを表示します。

- ・ プレート名

プレート名を表示します。

- ・解像度 (dpi)

プレートの解像度を表示します。単位は dpi です。

- ・割付数

実際に原稿を割付けた数と割付け候補の数を表示します。(割付け済み / 割付け候補)

- ・ 1 ~ 8 (色番号)

色版のカラーイメージと原稿の割付け状態を表示します。アイコンの×印は原稿が割付けられていない色版の状態を表し、アイコンの通常表示は、原稿を割付けた色版の状態を表しています。

- ・ PPW 作成日時

最後に出力合成用 PPW ファイルを作成した日時を表示します。

- ・ 割付原稿

プレートの割付原稿を表示します。(最大で半角 250 文字程度)

7 - 2 . プレートのレイアウト

JobEditor のメイン画面の右側下段はレイアウトビューといい、プレートビューのプレートリストで選択されたプレートのレイアウトのイメージと原稿名を表示します。

* プレートが複数選択されている場合、プレート No. が一番小さいプレートのレイアウトを表示します。

【レイアウトビュー】



7 - 3 . プレートの作成

プレートを作成する

PPW ファイル内の刷版レイアウト情報読み込みグループにプレートを作成します。

- 1) 「グループ」ビューの「グループ」リストでプレートを作成するグループを1つ選択します。
- 2) 「プレート」-「プレートの作成...」メニューか「プレート」ビューの「プレートの作成...」ボタンをクリックします。

「プレートの作成」ダイアログを表示します。

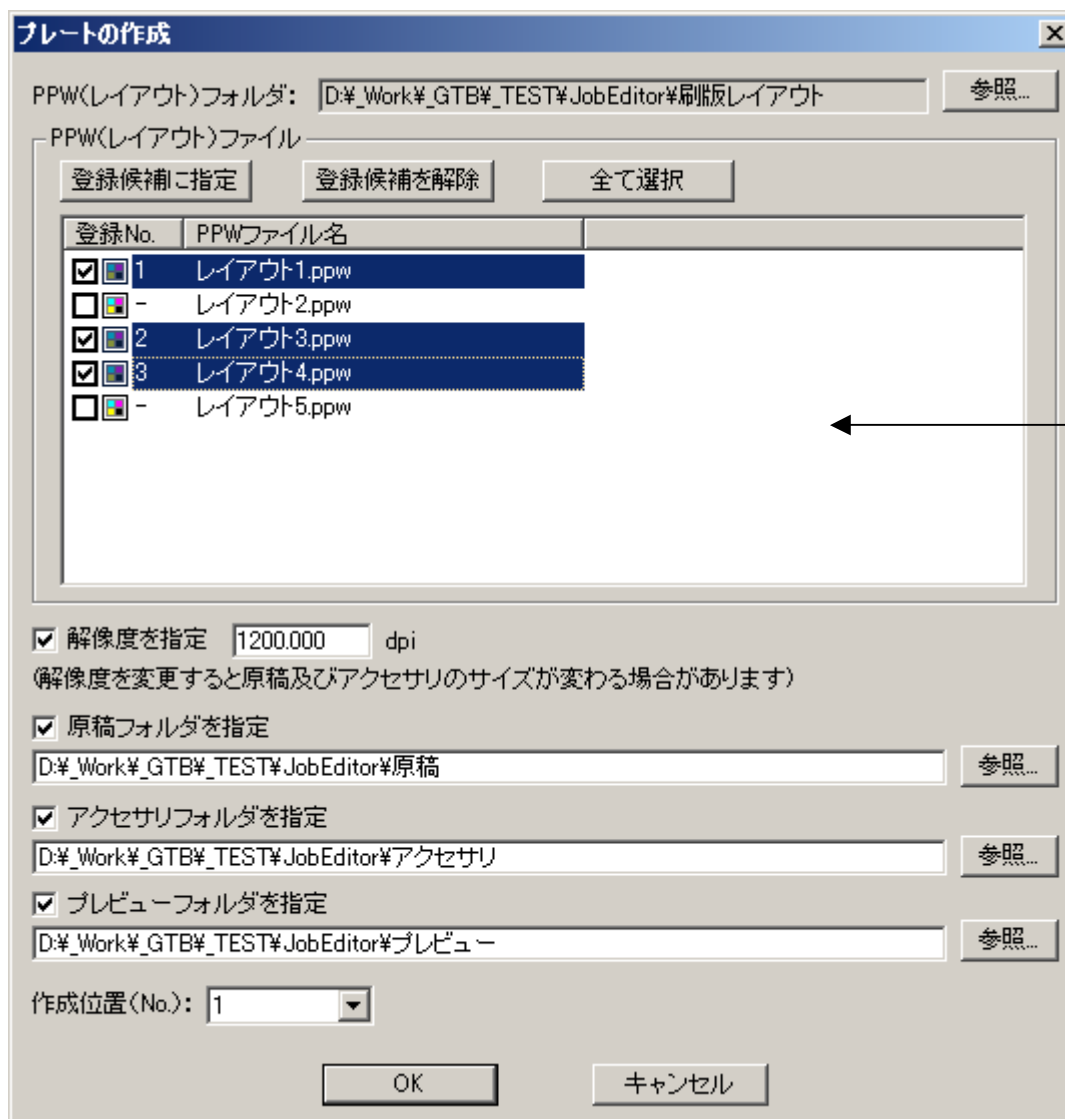
- 3) 「プレートの作成」ダイアログで、プレートに読み込む PPW (レイアウト) ファイルを PPW リストで選択して「登録候補に指定」ボタンをクリックします。

PPW リストで選択した PPW (レイアウト) ファイルの左端の がチェックしてアイコン右側に登録 No.を表示し、プレート読み込み候補とします。

- 4) 「プレートの作成」ダイアログで、使用する解像度、プレートリストの作成位置を指定して「OK」ボタンをクリックします。

「プレートの作成」ダイアログを終了し、登録候補の PPW (レイアウト) ファイルの刷版レイアウト情報を登録番号順に読み込み、プレートを作成します。

【「プレートの作成」ダイアログ】



PPW(レイアウト)ファイル リスト

・ PPW (レイアウト) フォルダ

PPW (レイアウト) フォルダを表示します。変更する場合新たなフォルダを入力するか、項目右側の「参照...」ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを表示し、フォルダを選択します。

・ 登録候補に指定

PPW リストで選択している PPW ファイルの登録 No.項目の にチェックを付けて PPW ファイルを登録候補に指定し、登録番号を表示します。

・ 登録候補を解除

PPW リストで選択している PPW ファイルの登録 No.項目の からチェックを外して PPW ファイルの登録候補を解除し、登録番号を削除して PPW リストの登録番号を更新します。

- ・ 全て選択

PPW リストに表示している PPW ファイルを全て選択状態にします。

- ・ PPW (レイアウト) ファイル リスト

「PPW (レイアウト) フォルダ」内の PPW ファイルの一覧を表示します。PPW ファイルの登録候補状態を表示する。

【リスト項目】

- ・ 登録 No.

項目左端の“ ”をクリックすることで PPW ファイルの登録候補の状態を変更できます。チェック有が登録候補の状態に登録 No.を表示し、チェック無しが登録候補でない状態で“ - ”を表示します。登録 No.は登録候補に指定した順番に番号が付けられプレート作成実行時、PPW ファイル中の刷版レイアウト情報の読み込み順となります。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

- ・ PPW ファイル名

PPW (レイアウト) ファイル名を表示します。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

- ・ 解像度を指定

レイアウトの解像度設定を使用せず、ユーザが解像度を指定する状態が表示します。項目の にチェックを付けると右側の入力項目が有効になり解像度を表示します。変更する場合は項目に解像度を入力します。(単位は dpi)

- ・ 原稿フォルダを指定

レイアウト (PPW) ファイルの原稿フォルダ設定を使用せず、ユーザが原稿フォルダを指定する状態が表示します。項目の にチェックを付けると下の入力項目が有効になり原稿フォルダを表示します。変更する場合は項目に原稿フォルダを入力するか、入力項目の右側の「参照…」ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを表示して原稿フォルダを指定します。

- ・ アクセサリフォルダを指定

レイアウト (PPW) ファイルのアクセサリフォルダ設定を使用せず、ユーザがアクセサリフォルダを指定する状態が表示します。項目の にチェックを付けると下の入力項目が有効になりアクセサリフォルダを表示します。変更する場合は項目にアクセサリフォルダを入力するか、入力項目の右側の「参照…」ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを表示してアクセサリフォルダを指定します。

- ・ プレビューフォルダを指定

レイアウト (PPW) ファイルのプレビューフォルダ設定を使用せず、ユーザがプレビューフォルダを指定する状態が表示します。項目の にチェックを付けると下の入力項目が有効になりプレビューフォルダを表示します。変更する場合は項目にプレビューフォルダを入力するか、入力項目の右側の「参照…」ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを表示してプレビューフォルダを指定します。

・作成位置 (No.)

作成したプレートを挿入する位置を表示します。変更をする場合は項目の をクリックしてドロップしたリストから新たな作成位置を指定します。(1~プレート数)

・OK

「プレートの作成」ダイアログを終了し、指定の解像度で登録 No.の順に PPW ファイルのレイアウト情報を読み込み作成位置 (No.) にプレートを作成します。

・キャンセル

「プレートの作成」ダイアログを終了します。

7 - 4 . プレートの基本情報の編集

プレートの基本情報を編集する

割付情報以外のプレートの基本情報を編集します。

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで基本情報を編集するプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「プレートの編集...」メニューか「プレート」ビューの「プレートの編集...」ボタンをクリックします。

「プレートの編集」ダイアログを表示します。2) でプレートを単一選択した場合は4) の操作へ、プレートを複数選択した場合は5) の操作へ進みます。

4) 2) でプレートを単一選択した場合、「プレートの編集」ダイアログで、「プレート名」、「解像度」、「原稿フォルダ」、「アクセサリフォルダ」、「プレビューフォルダ」で必要な項目の設定を変更して「OK」ボタンをクリックして操作を終了します。

「プレートの編集」ダイアログを終了して、選択したプレートの設定を変更してプレートリストの表示を更新します。

5) 2) でプレートを複数選択した場合、「プレートの編集」ダイアログで、「プレート名」、「プレート名」の「連番付加」及び「開始番号」、「解像度」、「原稿フォルダ」、「アクセサリフォルダ」、「プレビューフォルダ」の各項目で設定を変更したい項目について項目左端にある

をクリックしてチェックを付け、変更したくない項目については項目左端にある をクリックしてチェックを外します。

項目左端の にチェックを付けた項目は編集可能な状態になり、チェックを外した項目は編集不可能な状態（灰色表示）になります。

- 6) 「プレートの編集」ダイアログで、編集可能にした項目の設定を変更して「OK」ボタンをクリックします。

「プレートの編集」ダイアログを終了して、選択したプレートの「プレートの編集」ダイアログで編集可能な状態にした項目設定のみを変更してプレートリストの表示を更新します。

【「プレートの編集」ダイアログ】

・プレート名

プレート名を表示します。変更する場合は項目に新たなプレート名を入力します。プレートの複数選択時は選択したプレートで1番小さいプレート番号の設定を表示し、項目左端に を表示します。

にチェックを付けると項目が編集可能になり、チェックを外すと編集不可能な状態になります。

・連番付加

「プレート名」に付加する連番の位置を表示します。変更する場合は項目右側の をクリックしてドロップしたリストから連番を付加する位置を指定します。この項目の指定は「プレート名」項目の編集状態と連動します。

・開始番号

「連番付加」機能有効時の開始番号を表示します。変更する場合は項目に新たな開始番号を入力します。「連番付加」項目の状態と連動します。

- ・区切り文字

「連番付加」機能有効時の「プレート名」と連番の区切り文字を表示します。変更する場合は項目に新たな区切り文字を入力します。「連番付加」項目の状態と連動します。

- ・桁数

「連番付加」機能有効時の連番の桁数を表示します。変更する場合は項目に新たな桁数を入力します。「連番付加」項目の状態と連動します。* 1 以下の場合は可変桁数です。(0 ~ 6)

- ・解像度 (dpi)

プレートの解像度を表示します。変更する場合は項目に新たな解像度を入力します。プレートの複数選択時は選択したプレートで 1 番小さいプレート番号の設定を表示し、項目左端に を表示します。 にチェックを付けると項目が編集可能になり、チェックを外すと編集不可能な状態になります。

- ・原稿フォルダ

プレートの原稿フォルダを表示します。変更する場合は項目に新たな原稿フォルダを入力するか、項目右側の「参照...」ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを表示してフォルダを選択します。プレートの複数選択時は選択したプレートで 1 番小さいプレート番号の設定を表示し、項目左端に を表示します。 にチェックを付けると項目が編集可能になり、チェックを外すと編集不可能な状態になります。

- ・アクセサリフォルダ

プレートのアクセサリフォルダを表示します。変更する場合は項目に新たなアクセサリフォルダを入力するか、項目右側の「参照...」ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを表示してフォルダを選択します。プレートの複数選択時は選択したプレートで 1 番小さいプレート番号の設定を表示し、項目左端に を表示します。 にチェックを付けると項目が編集可能になり、チェックを外すと編集不可能な状態になります。

- ・プレビューフォルダ

プレートのプレビューフォルダを表示します。変更する場合は項目に新たなプレビューフォルダを入力するか、項目右側の「参照...」ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを表示してフォルダを選択します。プレートの複数選択時は選択したプレートで 1 番小さいプレート番号の設定を表示し、項目左端に を表示します。 にチェックを付けると項目が編集可能になり、チェックを外すと編集不可能な状態になります。

- ・OK

「プレートの編集」ダイアログを終了して、選択したプレートの設定を変更してプレートリストの表示を更新します。プレートの複数選択時は「プレートの編集」ダイアログで編集可能な状態にした項目設定のみを変更してプレートリストの表示を更新します。

- ・キャンセル

「プレートの編集」ダイアログを終了します。

7 - 5 . プレートの複製

プレートを複製する

プレートリストで選択したプレートを複製します。(複数選択可)

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで複製したいプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「プレートの複製...」メニューか「プレート」ビューの「プレートの複製...」ボタンをクリックします。

「プレートの複製」ダイアログを表示します。

4) 「プレートの複製」ダイアログで、「複製位置 (No.)」、「複製回数」を指定して「OK」ボタンをクリックします。

「プレートの複製」ダイアログを終了し、選択したプレートを指定に従い複製します。コピー先のプレート名はコピー元の“プレート名” + “_COPY” + “一意の番号”になります。

【「プレートの複製」ダイアログ】



・複製位置 (No.)

複製する位置を表示します。変更をする場合は項目の をクリックしてドロップしたリストから新たな複製位置を指定します。(1 ~ プレート数)

・複製回数

複製回数を表示します。変更をする場合は項目に新たな複製回数を入力してください。

・OK

「プレートの複製」ダイアログを終了し、指定に従い選択したプレートを複製します。

・キャンセル

「プレートの複製」ダイアログを終了します。

7 - 6 . プレートの削除

プレートを削除する

プレートリストで選択したプレートを削除します。（複数選択可）

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

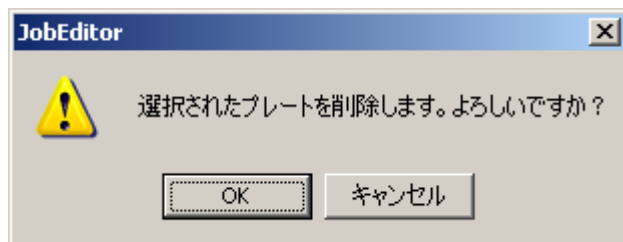
2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで削除したいプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「プレートの削除...」メニューか「プレート」ビューの「プレートの削除...」ボタンをクリックします。

プレートの削除を確認するメッセージ画面を表示します。



4) メッセージ画面で「OK」ボタンをクリックします。

メッセージ画面を閉じて、選択したプレートを削除します。

7 - 7 . プレートの割付情報の編集

プレートの原稿の割付け状態を見る

プレートの原稿の割付け状態を表示します。

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで割付情報の設定を表示するプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「割付情報の編集...」メニューか「プレート」ビューの「割付情報の編集...」ボタンをクリックします。

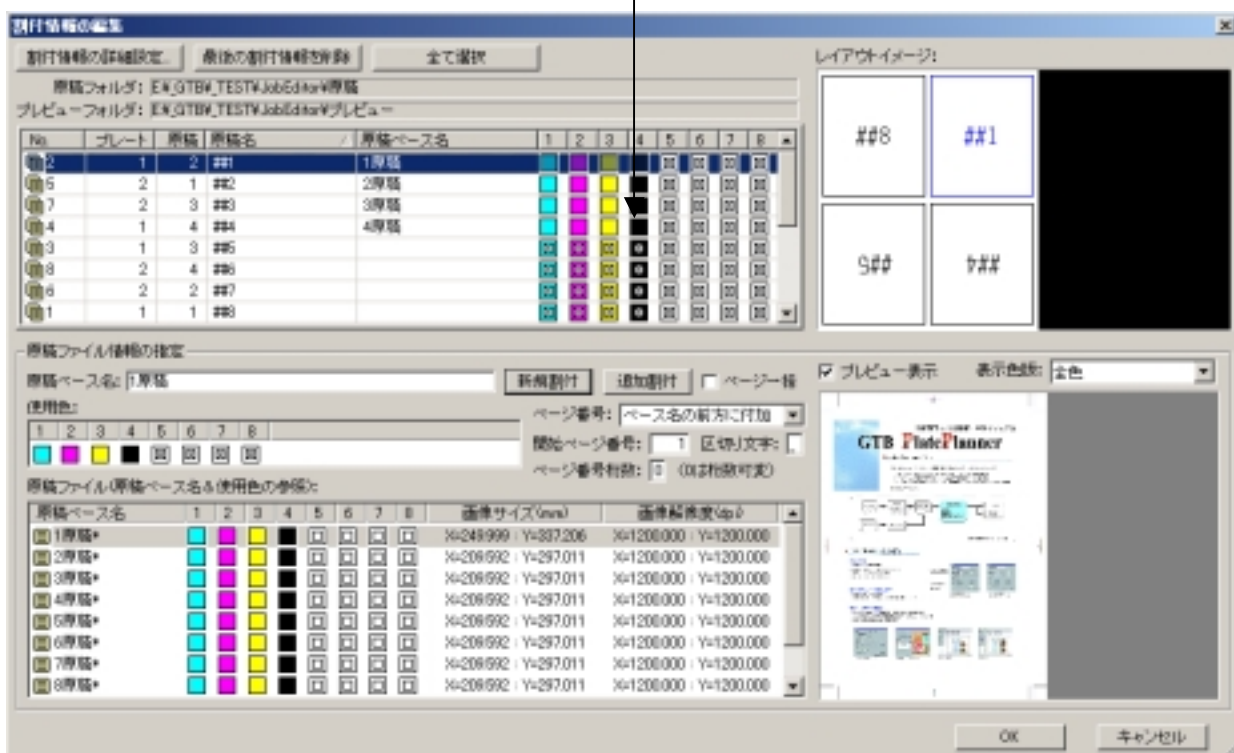
「割付情報の編集」ダイアログを表示します。

4) 内容を確認し終わったら「割付情報の編集」ダイアログで、「キャンセル」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを終了します。

【「割付情報の編集」ダイアログ】

原稿リスト



・割付情報の詳細設定 ボタン

「割付情報の詳細設定」ダイアログを表示して「原稿」リストで選択している原稿の割付情報を編集出来る様になります。* 単一選択時のみ有効

・最後の割付原稿を削除

「原稿」リストで選択している各原稿の最後に割付けた原稿名を削除します。* 複数選択可

・全て選択

「原稿」リストの原稿を全て選択状態にします。

- ・原稿フォルダ

「原稿」リストで選択している原稿のプレートで設定されている原稿フォルダを表示します。

- ・プレビューフォルダ

「原稿」リストで選択している原稿のプレートで設定されているプレビューフォルダを表示します。

- ・原稿 リスト

原稿の割付状態をリストに表示します。

【リスト項目】

- ・No.

編集対象の全原稿の通し No.を表示します。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

- ・プレート

原稿が配置されているプレート No.表示します。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

- ・原稿

プレート内での原稿 No.を表示します。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

- ・原稿名

原稿の名称を表示します。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。* “##+数字” は数値として処理します。

- ・原稿ベース名

原稿に割付けた原稿 (1bitTIFF) ファイルのベース名を表示します。複数の割付情報がある場合、原稿ベース名を“ | ”で区切って表示します。(例.“ 共通原稿 | 店名原稿 1 ”) 項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

* ベース名とは原稿 (1bitTIFF) ファイル名称から色版名、履歴番号を除いた、ページ No.を含むジョブ名のことを指します。(例.“ 1 原稿 C.TIF ” の場合、“ 1 原稿 ” の部分)

- ・ 1 ~ 8 (色番号)

色版のカラーイメージと原稿の割付け状態を表示します。アイコンの×印は原稿が割付けられていない色版の状態を表し、アイコンの通常表示は、原稿を割付けた色版の状態を表しています。*色版の設定については“ 3 - 1 .色版定義ファイルの編集”、“ 6 - 2 .グループの作成・編集”を参照。

- ・ レイアウトイメージ

「原稿」リストで選択している原稿のプレートのレイアウトイメージを表示します。選択している原稿は青色でレイアウトイメージに表示します。

- ・ 原稿ベース名

原稿に割付ける原稿(1bitTIFF)ファイルの原稿ベース名を表示します。項目を変更する場合は項目に新たな原稿ベース名を入力するか、後述の「原稿ファイル」リストで既存の原稿(1bitTIFF)ファイルを選択すると既存の原稿ファイル名を参照して原稿ベース名を作成します。

*ベース名とは原稿(1bitTIFF)ファイル名称から色版名、履歴番号を除いた、ページ No.を含むジョブ名のことを指します。(例.“ 1 原稿 C.TIF”の場合、“ 1 原稿”の部分)

- ・ 使用色 リスト

原稿に割付ける原稿(1bitTIFF)ファイルの使用色版をリストに表示します。

【リスト項目】

- ・ 1 ~ 8 (色番号)

色版のカラーイメージと使用色状態を表示します。アイコンの×印は色版の未使用色状態を表し、アイコンの通常表示は、色版の使用色状態を表しています。使用色/未使用色を変更する場合は色版のアイコンイメージをクリックします、クリックする度に使用色/未使用色を切り替えます。

*色版の設定については“ 3 - 1 .色版定義ファイルの編集”、“ 6 - 2 .グループの作成・編集”を参照。

- ・ 新規割付 ボタン

「原稿」リストで選択している原稿に対して「原稿ベース名」、「使用色」、後述の「ページ連番」関係の各設定、または後述の「原稿ファイル」リストで選択(複数選択の場合のみ)している原稿(1bitTIFF)ファイルの情報に基づき、「原稿ベース名」、「使用色」を既に割付けられている割付け情報を破棄して割付けます。

- ・ 追加割付 ボタン

「原稿」リストで選択している原稿に対して「原稿ベース名」、「使用色」、後述の「ページ連番」関係の各設定、または後述の「原稿ファイル」リストで選択(複数選択の場合のみ)している原稿(1bitTIFF)ファイルの情報に基づき、原稿に「原稿ベース名」、「使用色」を既に割付けられている割付け情報に追加して割付けます。

- ・ページ一括

新規及び追加割付の実行時、チェックが付いていない場合は原稿リストの選択項目に原稿ファイルリストの選択項目を1対1で順に割付を行い、チェックが付いている場合は原稿リストの選択項目それぞれに原稿ファイルリストの選択項目の全てを順に割付けます。

- ・ページ番号

新規及び追加割付の実行時、ページ番号の生成の規則を表示します。変更する場合は項目右側の をクリックしてドロップしたリストからページ番号の生成の規則を指定します。項目の指定に従い「原稿ベース名」の前方または後方に後述するページ番号設定に基づいてページ番号を付加します。

- ・開始ページ番号

ページ連番の生成時の開始ページ番号を表示します。変更する場合は項目に新たな開始ページ番号を入力します。

- ・ページ番号桁数

ページ連番の生成時のページ番号桁数を表示します。変更する場合は項目に新たなページ番号桁数を入力します。* 1以下の場合には可変桁数です。(0~6)

- ・ページ番号とベース名の区切り文字

ページ連番の生成時のページ番号と「原稿ベース名」の間の区切り文字を表示します。変更する場合は項目に新たな区切り文字を入力します。

- ・原稿ファイル(原稿ベース名&使用色の参照) リスト

グループ設定の原稿フォルダ内の原稿(1bitTIFF)ファイルをページ単位でリストに表示します。単一選択した場合、選択した原稿(1bitTIFF)ファイルの情報を「原稿ベース名」、「使用色」リストに反映します。

【リスト項目】

- ・原稿ベース名

原稿(1bitTIFF)ファイルのベース名を表示します。

* ベース名とは原稿(1bitTIFF)ファイル名称から色版名、履歴番号を除いた、ページ No.を含むジョブ名のことを指します。(例.“1原稿 C.TIF”の場合、“1原稿”の部分)

- ・1~8(色番号)

原稿(1bitTIFF)ファイルの各色版のカラーイメージとファイルの有無と使用色状態を表示します。色版ファイルが存在しかつ使用色の場合はアイコンを通常の塗りつぶしで、存在しない場合はアイコンの中央部を白抜きで、未使用色の場合はアイコンの中央部に×印を表示します。選択状態でアイコンをクリックすると使用色/未使用色を切り替えることができます。

* 色版の設定については“3-1.色版定義ファイルの編集”、“6-2.グループの作成・編集”を参照。

- ・画像サイズ(mm)

原稿(1bitTIFF)ファイルの画像サイズを表示します。

- ・画像解像度(dpi)

原稿(1bitTIFF)ファイルの画像解像度を表示します。

- ・プレビュー表示

プレビュー表示状態を表示します。変更する場合は項目をクリックします。項目にチェックが付いている場合、「原稿ファイル(原稿ベース名&使用色の参照)」リストで選択している既存の原稿(1bitTIFF)ファイルのプレビューを表示します。

*あらかじめ原稿ファイルに対応するプレビュー画像を弊社の **PreviewMaker** (プレビュー作成ソフト) 等で作成しておく必要があります。

- ・表示色版

プレビュー表示する色版を表示します。変更する場合は項目右側の をクリックしてドロップしたリストから新たな表示色版を指定します。

- ・OK

「割付情報の編集」ダイアログを終了し、設定の変更を確定します。

- ・キャンセル

「割付情報の編集」ダイアログを終了し、設定の変更を破棄します。

既存の原稿(1bitTIFF)ファイルの情報を割付ける

グループの設定の原稿フォルダ内に存在する原稿(1bitTIFF)ファイルの情報を参照して原稿の割付けを行います。

*プレート作成直後は何も割付けられていません。

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで割付情報を編集するプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

*複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「割付情報の編集...」メニューか「プレート」ビューの「割付情報の編集...」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを表示します。

4) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、必要ならばリスト項目のタイトルをクリックしてソートを行います。必要でない場合は5)の操作に進んでください。

クリックしたリスト項目を昇順でリストを並び替えます。もう一度同じ項目タイトルをクリックすると降順でリストを並び替えます。

5) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、割付け対象の原稿を選択します。

6) 「割付情報の編集」ダイアログで、「原稿ファイル(原稿ベース名&使用色の参照)」リストの原稿ファイル情報を参照する原稿ファイルを選択します。

- ・単一選択の場合、「原稿ベース名」、「使用色」リストに選択した原稿ファイルの情報を反映します。
- ・複数選択した場合、「原稿ベース名」、「使用色」リスト、「ページ連番」関係の設定を禁止状態にします。

7) 「割付情報の編集」ダイアログで、「新規割付」ボタンまたは「追加割付」ボタンをクリックします。

- ・6)で原稿ファイルを単一選択している状態でかつ「新規割付」ボタンをクリックした場合、「原稿ベース名」、「使用色」リストの情報を5)で選択状態の原稿の割付情報を破棄し、原稿ファイル情報を新規で割付け、「原稿」リストの表示を更新します。
- ・6)で原稿ファイルを単一選択している状態でかつ「追加割付」ボタンをクリックした場合、「原稿ベース名」、「使用色」リストの情報を5)で選択状態の原稿の割付情報に保持し、原稿ファイル情報を追加で割付け、「原稿」リストの表示を更新します。
- ・6)で原稿ファイルを複数選択している状態でかつ「新規割付」ボタンをクリックした場合、選択状態の原稿ファイル情報を5)で選択状態の原稿の割付情報を破棄し、原稿ファイル情報をそれぞれのリストの上段から新規で1対1に割付け、「原稿」リストの表示を更新します。
- ・6)で原稿ファイルを単一選択している状態でかつ「追加割付」ボタンをクリックした場合、選択状態の原稿ファイル情報を5)で選択状態の原稿の割付情報に保持し、原稿ファイル情報をそれぞれのリストの上段から追加で1対1に割付け、「原稿」リストの表示を更新します。

8) 割付け作業を継続する場合は、4)から7)の操作を繰り返します。

9) 「割付情報の編集」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを終了して、割付けの変更を確定します。

存在しない原稿（1bitTIFF）ファイルの情報を事前に割付ける

存在しない原稿（1bitTIFF）ファイルの情報を事前に割付け、合成の準備をます。

* プレート作成直後は何も割付けられていません。

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで割付情報を編集するプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「割付情報の編集...」メニューか「プレート」ビューの「割付情報の編集...」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを表示します。

4) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、必要ならばリスト項目のタイトルをクリックしてソートを行います。必要でない場合は5)の操作に進んでください。

クリックしたリスト項目を昇順でリストを並び替えます。もう一度同じ項目タイトルをクリックすると降順でリストを並べ替えます。

5) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、割付け対象の原稿を選択します。

6) 「割付情報の編集」ダイアログで、「原稿ベース名」、「使用色」リスト、「ページ連番」関係の設定を指定します。

7) 「割付情報の編集」ダイアログで、「新規割付」ボタンまたは「追加割付」ボタンをクリックします。

・ 6)で「ページ連番」チェックを付けていない状態でかつ「新規割付」ボタンをクリックした場合、「原稿ベース名」、「使用色」リストの情報を5)で選択状態の原稿の割付情報を破棄し、原稿ファイル情報を新規で割付け、「原稿」リストの表示を更新します。

・ 6)で「ページ連番」チェックを付けていない状態でかつ「追加割付」ボタンをクリックした場合、「原稿ベース名」、「使用色」リストの情報を5)で選択状態の原稿の割付情報を保持し、原稿ファイル情報を追加で割付け、「原稿」リストの表示を更新します。

・ 6)で「ページ連番」チェックを付けている状態でかつ「新規割付」ボタンをクリックした場合、「原稿ベース名」、「使用色」リストの情報を5)で選択状態の原稿の割付情報を破棄し、原稿ファイル情報を「原稿」リストの上段から「ページ連番」関連の設定に基づき「原稿ベース名」にページ番号を付加して新規で割付け、「原稿」リストの表示を更新します。

- ・ 6) で「ページ連番」チェックを付けている状態でかつ「追加割付」ボタンをクリックした場合、「原稿ベース名」、「使用色」リストの情報を 5) で選択状態の原稿の割付情報を保持し、原稿ファイル情報を「原稿」リストの上段から「ページ連番」関連の設定に基づき「原稿ベース名」にページ番号を付加して追加で割付け、「原稿」リストの表示を更新します。
- 8) 割付け作業を継続する場合は、4) - 7) の操作を繰り返します。
- 9) 「割付情報の編集」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。
「割付情報の編集」ダイアログを終了して、割付けの変更を確定します。

最後の割付情報を削除する

原稿の最後に割付けた原稿 (1bitTIFF) ファイルの情報 (割付情報) を削除します。

- 1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを 1 つ選択します。
- 2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで割付情報を編集するプレートを選択します。
選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。
* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。
- 3) 「プレート」 - 「割付情報の編集...」メニューか「プレート」ビューの「割付情報の編集...」ボタンをクリックします。
「割付情報の編集」ダイアログを表示します。
- 4) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、必要ならばリスト項目のタイトルをクリックしてソートを行います。必要でない場合は 5) の操作に進んでください。
クリックしたリスト項目を昇順でリストを並び替えます。もう一度同じ項目タイトルをクリックすると降順でリストを並び替えます。
- 5) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで最後の割付情報を削除する原稿を選択します。
- 6) 「割付情報の編集」ダイアログで、「最後の割付情報を削除」ボタンをクリックします。
5) で選択した各原稿の最後の割付情報 (「原稿」リストの原稿ベース名項目の右端) を削除して、「原稿」リストの表示を更新します。
- 7) 「割付情報の編集」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。
「割付情報の編集」ダイアログを終了して、割付けの変更を確定します。

原稿の割付情報の詳細設定を確認する

原稿の割付情報の詳細設定を表示して確認します。

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで割付情報を編集するプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「割付情報の編集...」メニューか「プレート」ビューの「割付情報の編集...」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを表示します。

4) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、必要ならばリスト項目のタイトルをクリックしてソートを行います。必要でない場合は5)の操作に進んでください。

クリックしたリスト項目を昇順でリストを並び替えます。もう一度同じ項目タイトルをクリックすると降順でリストを並び替えます。

5) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで割付情報を編集する原稿を1つ選択するかダブルクリックします。ダブルクリックした場合は6)の操作を省略できます。

6) 「割付情報の編集」ダイアログで、「割付情報の詳細設定...」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを表示します。

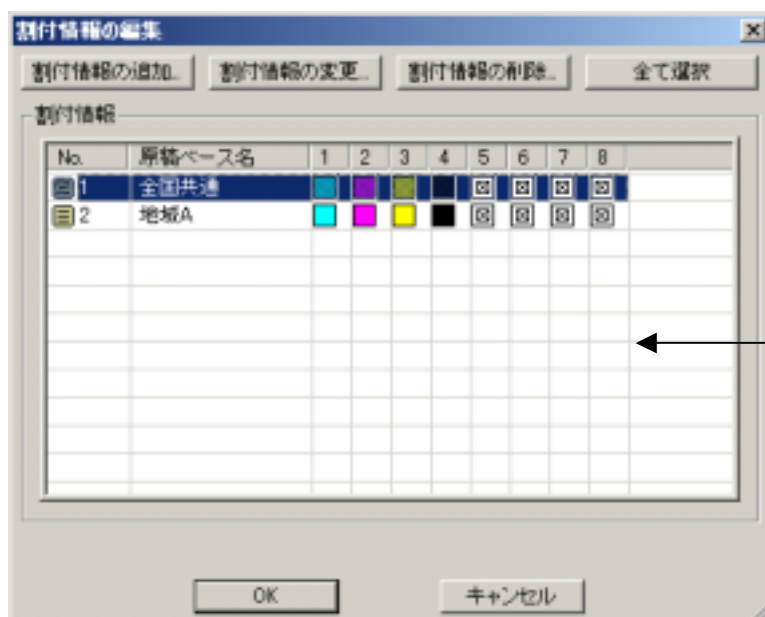
7) 割付情報の内容を確認し終わったら「割付情報の詳細設定」ダイアログで、「キャンセル」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを終了します。

8) 「割付情報の編集」ダイアログで、「キャンセル」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを終了します。

【「割付情報の詳細設定」ダイアログ】



割付情報リスト

- ・ 割付情報の追加
新たに割付情報の追加します。「原稿ファイル情報の指定」ダイアログを表示します。
- ・ 割付情報の変更
指定の割付情報の内容を変更します。「原稿ファイル情報の指定」ダイアログを表示します。
- ・ 割付情報の削除
指定の割付情報を削除します。削除確認メッセージを表示します。
- ・ 全て選択
「割付情報」リストの割付情報を全て選択状態にします。
- ・ 割付情報 リスト
割付情報の一覧を表示します。

【リスト項目】

- ・ No.

割付情報の割付番号を表示します。

- ・ 原稿ベース名

原稿（1bitTIFF）ファイルのベース名を表示します。

* ベース名とは原稿（1bitTIFF）ファイル名称から色版名、履歴番号を除いた、ページ No.を含むジョブ名のことを指します。（例．“ 1 原稿 C.TIF ” の場合、“ 1 原稿 ” の部分）

- ・ 1 ~ 8 (色番号)

原稿 (1bitTIFF) ファイルの各色版のカラーイメージとファイルの有無と使用色状態を表示します。色版が使用色の場合はアイコンを通常の塗りつぶしで、色版が未使用色の場合はアイコンの中央部に×印を表示します。選択状態でアイコンをクリックすると使用色 / 未使用色を切り替えることができます。

原稿の割付情報の詳細設定で割付情報を追加する

原稿の割付情報の詳細設定を表示して新たな割付情報を追加します。

- 1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

- 2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで割付情報を編集するプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

- 3) 「プレート」- 「割付情報の編集...」メニューか「プレート」ビューの「割付情報の編集...」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを表示します。

- 4) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、必要ならばリスト項目のタイトルをクリックしてソートを行います。必要でない場合は5) の操作に進んでください。

クリックしたリスト項目を昇順でリストを並び替えます。もう一度同じ項目タイトルをクリックすると降順でリストを並び替えます。

- 5) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで割付情報を編集する原稿を1つ選択するかダブルクリックします。ダブルクリックした場合は6) の操作を省略できます。

- 6) 「割付情報の編集」ダイアログで、「割付情報の詳細設定...」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを表示します。

- 7) 「割付情報の詳細設定」ダイアログで、「割付情報の追加...」ボタンをクリックします。

「原稿ファイル情報の指定」ダイアログを表示します。

8) 既存の原稿ファイルが存在する場合、「原稿ファイル情報の指定」ダイアログの「原稿ファイル(原稿ベース名&使用色の参照)」リストで原稿ファイルを選択します。

「原稿ベース名」、「使用色」に選択した原稿ファイルの情報が反映されます。

* 「原稿ベース名」、「使用色」に原稿ファイル情報を反映した後でも変更可能です。

9) 8)の操作で既存の原稿ファイルのプレビュー画像表示したい場合は、「プレビュー表示>>」ボタンをクリックして押下した状態にします。クリックする毎にプレビュー表示の表示/非表示を切り替えることができます。

「原稿ファイル情報の指定」ダイアログの右側にプレビュー表示領域表示し、「原稿ファイル(原稿ベース名&使用色の参照)」リストで選択した原稿ファイルのプレビューを表示します。

* プレビューを表示するには原稿ファイルに対応するプレビューファイルを作成している必要があります。

10) 「原稿ファイル情報の指定」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「原稿ファイル情報の指定」ダイアログを終了して、割付情報を追加します。

11) 「割付情報の詳細設定」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを終了して、編集内容を確定します。

12) 「割付情報の編集」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを終了して、編集内容を確定します。

【「原稿ファイル情報の指定」ダイアログ】



・原稿ベース名

原稿に割付ける原稿 (1bitTIFF) ファイルの原稿ベース名を表示します。項目を変更する場合は項目に新たな原稿ベース名を入力するか、後述の「原稿ファイル」リストで既存の原稿 (1bitTIFF) ファイルを選択すると既存の原稿ファイル名を参照して原稿ベース名を作成します。

* ベース名とは原稿 (1bitTIFF) ファイル名称から色版名、履歴番号を除いた、ページ No.を含むジョブ名のことを指します。(例 .“ 1 原稿 C.TIF ” の場合、“ 1 原稿 ” の部分)

・使用色 リスト

原稿に割付ける原稿 (1bitTIFF) ファイルの使用色版をリストに表示します。

【リスト項目】

・ 1 ~ 8 (色番号)

色版のカラーイメージと使用色状態を表示します。アイコンの×印は色版の未使用色状態を表し、アイコンの通常表示は、色版の使用色状態を表しています。使用色 / 未使用色を変更する場合は色版のアイコンイメージをクリックします、クリックする度に使用色 / 未使用色を切り替えます。

* 色版の設定については“ 3 - 1 .色版定義ファイルの編集 ”、“ 6 - 2 .グループの作成・編集 ”を参照。

・原稿ファイル (原稿ベース名&使用色の参照) リスト

グループ設定の原稿フォルダ内の原稿 (1bitTIFF) ファイルをページ単位でリストに表示します。単一選択した場合、選択した原稿 (1bitTIFF) ファイルの情報を「原稿ベース名」、「使用色」リストに反映します。

【リスト項目】

・原稿ベース名

原稿 (1bitTIFF) ファイルのベース名を表示します。

* ベース名とは原稿 (1bitTIFF) ファイル名称から色版名、履歴番号を除いた、ページ No.を含むジョブ名のことを指します。(例 .“ 1 原稿 C.TIF ” の場合、“ 1 原稿 ” の部分)

・ 1 ~ 8 (色番号)

原稿 (1bitTIFF) ファイルの各色版のカラーイメージとファイルの有無と使用色状態を表示します。色版ファイルが存在しかつ使用色の場合はアイコンを通常の塗りつぶしで、存在しない場合はアイコンの中央部を白抜きで、未使用色の場合はアイコンの中央部に×印を表示します。選択状態でアイコンをクリックすると使用色 / 未使用色を切り替えることができます。

* 色版の設定については“ 3 - 1 .色版定義ファイルの編集 ”、“ 6 - 2 .グループの作成・編集 ”を参照。

- ・画像サイズ(mm)

原稿 (1bitTIFF) ファイルの画像サイズを表示します。

- ・画像解像度(dpi)

原稿 (1bitTIFF) ファイルの画像解像度を表示します。

- ・プレビュー表示

プレビュー表示状態を表示します。変更する場合は項目をクリックします。項目にチェックが付いている場合、「原稿ファイル (原稿ベース名 & 使用色の参照) 」リストで選択している既存の原稿 (1bitTIFF) ファイルのプレビューを表示します。

* あらかじめ原稿ファイルに対応するプレビュー画像を弊社の **PreviewMaker** (プレビュー作成ソフト) 等で作成しておく必要があります。

- ・表示色版

プレビュー表示する色版を表示します。変更する場合は項目右側の をクリックしてドロップしたリストから新たな表示色版を指定します。

- ・OK

割付情報を確定して「原稿ファイル情報の指定」ダイアログを終了します。

- ・キャンセル

割付情報を破棄して「原稿ファイル情報の指定」ダイアログを終了します。

原稿の割付情報の詳細設定で割付情報を変更する

原稿の割付情報の詳細設定を表示して既存の割付情報を変更します。

- 1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

- 2) 「プレート」ビューの「プレート」リストでプレートを編集する割付情報を選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

- 3) 「プレート」 - 「割付情報の編集...」メニューか「プレート」ビューの「割付情報の編集...」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを表示します。

- 4) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、必要ならばリスト項目のタイトルをクリックしてソートを行います。必要でない場合は5) の操作に進んでください。

クリックしたリスト項目を昇順でリストを並び替えます。もう一度同じ項目タイトルをクリックすると降順でリストを並べ替えます。

5) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで割付情報を編集する原稿を1つ選択するか、ダブルクリックします。ダブルクリックした場合は6)の操作を省略できます。

6) 「割付情報の編集」ダイアログで、「割付情報の詳細設定…」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを表示します。

7) 「割付情報の詳細設定」ダイアログの「割付情報」リストで、変更する割付情報を1つ選択するか、ダブルクリックします。ダブルクリックした場合は8)の操作を省略できます。

8) 「割付情報の詳細設定」ダイアログで、「割付情報の変更…」ボタンをクリックします。

「原稿ファイル情報の指定」ダイアログを表示します。

9) 既存の原稿ファイルが存在する場合、「原稿ファイル情報の指定」ダイアログの「原稿ファイル(原稿ベース名&使用色の参照)」リストで原稿ファイルを選択します。

「原稿ベース名」、「使用色」に選択した原稿ファイルの情報が反映されます。

* 「原稿ベース名」、「使用色」に原稿ファイル情報を反映した後でも変更可能です。

10) 9)の操作で既存の原稿ファイルのプレビュー画像表示したい場合は、「プレビュー表示>>」ボタンをクリックして押下した状態します。クリックする毎にプレビュー表示の表示/非表示を切り替えることが出来ます。

「原稿ファイル情報の指定」ダイアログの右側にプレビュー表示領域表示し、「原稿ファイル(原稿ベース名&使用色の参照)」リストで選択した原稿ファイルのプレビューを表示します。

* プレビューを表示するには原稿ファイルに対応するプレビューファイルを作成している必要があります。

11) 「原稿ファイル情報の指定」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「原稿ファイル情報の指定」ダイアログを終了して、割付情報を変更します。

12) 「割付情報の詳細設定」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを終了して、編集内容を確定します。

13) 「割付情報の編集」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを終了して、編集内容を確定します。

原稿の割付情報の詳細設定で使用色を変更する

原稿の割付情報の詳細設定を表示して既存の割付情報を変更します。

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで割付情報を編集するプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「割付情報の編集...」メニューか「プレート」ビューの「割付情報の編集...」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを表示します。

4) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、必要ならばリスト項目のタイトルをクリックしてソートを行います。必要でない場合は5)の操作に進んでください。

クリックしたリスト項目を昇順でリストを並び替えます。もう一度同じ項目タイトルをクリックすると降順でリストを並び替えます。

5) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで割付情報を編集する原稿を1つ選択するか、ダブルクリックします。ダブルクリックした場合は6)の操作を省略できます。

6) 「割付情報の編集」ダイアログで、「割付情報の詳細設定...」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを表示します。

7) 「割付情報の詳細設定」ダイアログの「割付情報」リストで、使用色を変更する割付情報を1つ選択します。

8) 「割付情報の詳細設定」ダイアログの「割付情報」リストで、選択状態の割付情報で使用色を変更したい色版のカラーイメージをクリックします。

未使用色のアイコン(中が×印)をクリックした場合、使用色に変更します。使用色のアイコン(中が塗り潰し)をクリックした場合、未使用色に「割付情報の詳細設定」ダイアログを表示します。

9) 変更が完了するまで7)~8)の操作を繰り返します。

10) 「割付情報の詳細設定」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを終了して、編集内容を確定します。

1 1) 「割付情報の編集」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを終了して、編集内容を確定します。

原稿の割付情報の詳細設定で割付情報を削除する

原稿の割付情報の詳細設定を表示して既存の割付情報を削除します。

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで割付情報を編集するプレートを選択します。(複数選択可)

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「割付情報の編集...」メニューか「プレート」ビューの「割付情報の編集...」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを表示します。

4) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで、必要ならばリスト項目のタイトルをクリックしてソートを行います。必要でない場合は5)の操作に進んでください。

クリックしたリスト項目を昇順でリストを並び替えます。もう一度同じ項目タイトルをクリックすると降順でリストを並び替えます。

5) 「割付情報の編集」ダイアログの「原稿」リストで割付情報を編集する原稿を1つ選択するか、ダブルクリックします。ダブルクリックした場合は6)の操作を省略できます。

6) 「割付情報の編集」ダイアログで、「割付情報の詳細設定...」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを表示します。

7) 「割付情報の詳細設定」ダイアログの「割付情報」リストで、削除する割付情報を選択します。(複数選択可)

8) 「割付情報の詳細設定」ダイアログで、「割付情報の削除...」ボタンをクリックします。

選択した割付情報を削除して、「割付情報」リストの表示を更新します。

9) 「割付情報の詳細設定」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「割付情報の詳細設定」ダイアログを終了して、編集内容を確定します。

10) 「割付情報の編集」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックします。

「割付情報の編集」ダイアログを終了して、編集内容を確定します。

7 - 8 . 出力合成用 P P W作成日時の削除

出力合成用 P P W作成日時を削除する

プレートの出力合成用 P P Wファイルを作成した最後日時を削除します。(複数選択可)

1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを1つ選択します。

2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで、出力合成用 P P Wの最終作成日時を削除したいプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

3) 「プレート」-「PPW 作成日時の削除...」メニューか「プレート」ビューの「PPW 作成日時の削除...」ボタンをクリックします。

PPW 作成日時の削除の確認メッセージを表示します。



4) メッセージ画面で「OK」ボタンをクリックします。

メッセージ画面を閉じて、選択したプレートの PPW 作成日時を削除します。

7 - 9 . 出力合成用 P P W ファイルの作成

出力合成用 P P W ファイルを作成する

プレートの出力合成用 P P W ファイルを作成します。(複数選択可)

- 1) 「グループ」ビューの「グループ」リストで対象のプレートを含むグループを 1 つ選択します。
- 2) 「プレート」ビューの「プレート」リストで出力合成用 P P W ファイルを作成したいプレートを選択します。

選択したプレートのプレートイメージを「レイアウト」ビューに表示します。

* 複数選択した場合、プレート番号の若いプレートのイメージが「レイアウト」ビューに表示します。

- 3) 「プレート」- 「出力合成用 P P W の作成...」メニューか「プレート」ビューの「出力合成用 P P W の作成...」ボタンをクリックします。

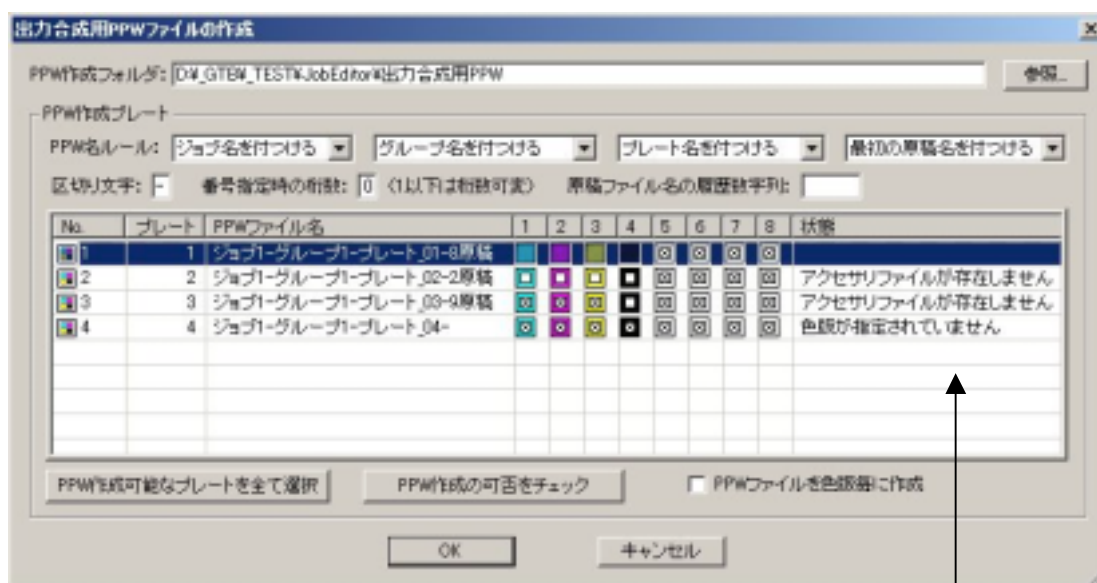
「出力合成用 PPW ファイルの作成」ダイアログを表示します。「PPW 作成プレート」リストで PPW 作成可能なプレートが選択状態になっています。

- 4) 「出力合成用 P P W ファイルの作成」ダイアログで、「PPW 作成フォルダ」、「PPW 名称ルール」を設定する。

- 5) 「出力合成用 P P W ファイルの作成」ダイアログの PPW 作成プレート」リストで、PPW を作成するプレートを選択し、PPW に含む色版を指定し、PPW を色版毎に分けて作成する場合は「PPW ファイルを色版毎に作成」チェックボックスにチェックをつけて、「OK」ボタンをクリックします。

「出力合成用 PPW ファイルの作成」ダイアログを終了して、指定の設定で出力合成用 PPW ファイルを指定のフォルダに作成します。作成が終了した場合とエラーの場合にメッセージを表示します。

【「出力合成用 PPW ファイルの作成」ダイアログ】



PPW 作成プレート リスト

・ PPW 作成フォルダ

出力合成用 PPW ファイルを作成するフォルダを表示します。変更する場合は項目右側の「参照...」ボタンをクリックして「フォルダの参照」ダイアログを表示し、フォルダを選択します。

・ PPW 名ルール (左側)

PPW 名にジョブの名称を含めるかを指定します。変更をする場合は項目の をクリックしてドロップしたリストから新たなルールを指定します。(“ジョブ名を付けない”、“ジョブ名を付つける”)

・ PPW 名ルール (中央左側)

PPW 名にグループの名称または番号を含めるかを指定します。変更をする場合は項目の をクリックしてドロップしたリストから新たなルールを指定します。(“グループ名を付けない”、“グループ名を付つける”、“グループ番号を付つける”)

・ PPW 名ルール (中央右側)

PPW 名に含めるプレートの名称または番号を指定します。変更をする場合は項目の をクリックしてドロップしたリストから新たなルールを指定します。(“プレート名を付つける”、“プレート番号を付つける”)

・ PPW 名ルール (右側)

PPW 名に各プレートに登録されている最初か最後の原稿の名称を含めるかを指定します。変更をする場合は項目の をクリックしてドロップしたリストから新たなルールを指定します。(“原稿名を付けない”、“最初の原稿名を付つける”、“最後の原稿名を付つける”)

- ・区切り文字

「PPW 名ルール」の各パーツの区切り文字を表示します。変更する場合は項目に新たな区切り文字を入力します。

- ・番号指定時の桁数

「PPW 名ルール」の各パーツで番号を選択した場合の桁数を表示します。変更する場合は項目に新たな桁数を入力します。* 1 以下の場合は可変桁数です。(0 ~ 6)

- ・原稿ファイル名の履歴数字列

1 b i t の原稿ファイル名の履歴数字列を入力します。例えば原稿ファイル名に「 0 0 」というような履歴番号が付加されている場合、「 0 0 」を入力します。この設定は全原稿に対して適用されます。

- ・PPW 作成プレート リスト

出力合成用 PPW ファイルを作成する候補のプレート一覧を表示します。

【リスト項目】

- ・ No.

出力合成用 PPW ファイル作成対象の全プレートの通し No.を表示します。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

- ・プレート

プレート No.表示します。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

- ・ PPW ファイル名

出力合成用 PPW ファイルのファイル名を表示します。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

- ・ 1 ~ 8 (色番号)

プレートの各色版のカラーイメージと色版に対応する原稿、アクセサリ (1 bitTIF) ファイルの有無と PPW 作成色の状態を表示します。原稿、アクセサリ (1 bitTIF) ファイルが存在し、かつ、PPW 作成色の場合はアイコンを通常の塗りつぶしで、存在しない場合はアイコンの中央部を白抜きで、PPW 未作成色の場合はアイコンの中央部に × 印を表示します。選択状態でアイコンをクリックすると作成色 / 未作成色を切り替えることができます。

* 色版の設定については“ 3 - 1 . 色版定義ファイルの編集 ”、“ 6 - 2 . グループの作成・編集 ”を参照。

- ・ 状態

プレートの状態を表示します。正常に出力合成用 PPW ファイルを作成出来る可能性がある場合は空白で、作成出来ない場合はエラーメッセージを表示します。項目のタイトルをクリックするとリストのソートを行います。クリックする毎に昇順・降順のソートを切り替えます。

- ・ PPW 作成可能なプレートを全て選択

出力合成用 PPW ファイルを作成出来る可能性のあるプレートを「PPW 作成プレート」リストで選択状態にします。

- ・ PPW 作成の可否をチェック

出力合成用 PPW ファイルを作成出来る可能性をチェックして「PPW 作成プレート」リストの「状態」項目の表示を更新します。

- ・ PPW ファイルを色版毎に作成

出力合成用 PPW ファイルの作成モードを表示します。変更する場合は項目をクリックします。チェックが付いていない場合は通常通りプレート毎に PPW ファイルを作成し、チェックが付いている場合は各プレートの色版毎に分けて PPW ファイルを作成します。

- ・ OK

「出力合成用 PPW ファイルの作成」ダイアログを終了し、指定に従って出力合成用 PPW ファイルを作成します。

- ・ キャンセル

「出力合成用 PPW ファイルの作成」ダイアログを終了します。